

はじめての Drupal 8 入門編

さくらのクラウドで Web サイトを作ってみよう！



オープンソースソフトウェアで企業の情報化

デジタルマーケティングで事業を活性化



Gennai3 株式会社

〒 210-0844 神奈川県川崎市川崎区渡田新町 1-4-9-201

電話 044-220-1588 • FAX 044-272-9523 www.gennai3.co.jp

目次

本マニュアルの使い方.....	5
はじめに.....	6
Drupal とは	6
追加説明項目(予定)	7
第1章 Drupal を使ってみよう	8
サイトを作ってみよう.....	8
管理画面へのログイン.....	9
ログイン後の設定.....	10
アカウントの設定.....	10
メンテナンスモード.....	11
サイト名の設定.....	13
ロゴの設定	16
エディターの設定と機能追加.....	17
CKEditor の設定	18
IMCE モジュールの追加	21
ページの作成.....	28
画像のスタイル.....	39
第2章 チームメンバーのページを作ろう.....	43
コンテンツタイプの作成.....	43
チームメンバーの紹介ページを作ろう.....	45
フィールドの追加.....	49
フォームディスプレイの管理.....	53
表示管理	54
Views でメンバー一覧ページ.....	57
第3章 お知らせページをトップページに表示	59
コンテンツの編集で便利な機能.....	65
ページを複製する機能.....	66
第4章 問合せページの作成.....	67
CONTACT フォームにフィールド追加.....	67

SMTP モジュール.....	67
第 5 章 メインメニューの設定.....	68
メインメニューの編集.....	69
第 6 章 デザインテンプレートの変更.....	71
テーマのインストール.....	73
スライドショーの写真を変更.....	75
ブロックの使い方.....	77
CKEditor でファイルのアップロード.....	79
ブロックの追加.....	82
CSS の設定	84
第 7 章 アドミン 環境設定.....	86
メンテナンスモードとは.....	86
管理メニューについて.....	87
ユーザー登録の権限.....	88
キャッシュの管理.....	88
日付と時刻	89
第 8 章 多言語サイトの設定.....	91
第 9 章 タクソノミーとは	93
概念	93
コンテンツタイプのフィールドと連携.....	95
第 10 章 便利なモジュール.....	96
SEO 対策.....	96
エディター関連.....	97
画像・ファイル管理.....	97
多言語対応	97
メール関連	97
日付・カレンダー.....	97
ユーザー管理.....	98
アドミン環境.....	98

アクセス制御.....	98
デザインテーマの管理.....	98
ワークフロー（申請、承認、発行）	98
ページレイアウト.....	99
データベースの入出力、バックアップ.....	99
ショッピングサイト.....	99
予約管理	99
その他	99
第 11 章 良く使うデザインテンプレート.....	100
インストールしてすぐに使えるようなデザインテンプレート ..	100
第 12 章 便利なディストリビューション.....	101
さまざま業務や職場で使えるパッケージ	101
第 13 章 英語のドキュメント.....	102
第 15 章 Drupal を学ぶ環境（パソコン編）	104
自分のパソコンにインストールして学ぶ場合	104
Acquia Dev Desktop 2 のインストール.....	104
Windows でインストールした場合（Drupal 7 の例ですが、Drupal 8 も同様です）	105
Bitnami のインストール.....	117
概要	117
対応 OS.....	118
インストール.....	119
第 16 章 Drupal を学ぶ環境（クラウド編）	120
クラウドで Drupal を選択してインストールする場合	120
Microsoft Azure の Free プランで Drupal を使う場合のインストール手順	120
第 17 章 Drupal を無料体験する Simpletest.me サイト.....	135
使い方	135
第 18 章 Drupal を学ぶ環境（Linux サーバー編）	137
クラウドや自社サーバーの Linux にインストールする場合 ..	137

1) インストールに必要なシステム環境	137
2) ダウンロードとインストール手順	138
データベースの作成 (インストール時に作成可能).....	140
インストール後の設定.....	142
設定ファイル (Drupal ルートディレクトリ sites/default/settings.php) の編集	142
ユーザーが取り扱う files ディレクトリの作成	143
クレジット、謝辞、ライセンス.....	144
クレジット	144
謝辞	144
ライセンス	144

本マニュアルの使い方

すでに Drupal の日本語化された環境があり、はじめて Drupal 8 を学ぶ場合は、[サイトを作ってみよう！](#) から始めて下さい。はじめてインストールから始める場合は、[第 14 章 Drupal を学ぶ環境 \(パソコン編\)](#) からをお薦めします。

第15章 Drupal 8 を学ぶ環境 (パソコン編)

Acquia Dev Desktop 2 のダウンロード



Drupal 8のインストール



第1章 Drupal 8 を使ってみよう

はじめに

Drupal とは

Drupal はオープンソースソフトウェアで、Web サイトのコンテンツ管理システム、一般的には CMS(Content Management System)のカテゴリーになります。代表的なオープンソース CMS として WordPress や Joomla などがあり、Drupal は 2000 年の 5 月に最初のバージョンが公開され、現在(2016 年 10 月)の最新版は Drupal 8.2 です。

開発経緯などの詳細は、Wikipedia で確認できます。 <https://en.wikipedia.org/wiki/Drupal>

ホームページといわれる情報発信がメインの機能の他に、Web サービスを中心とする他のさまざまなシステムと連携する Web アプリケーションの開発環境としても、今後、たくさん使われます。

Drupal 8 で簡単な Web サイトを構築して、その後、世界中のさまざまなシステムと連携して **Web ビジネス**へ発展させるようなことも可能です。

また、スマートフォンやタブレットのようなモバイル情報端末や、ウェアラブルコンピュータ、家電、自動車など、あらゆるものがインターネットにつながる、**IoT**(Internet of Things モノのインターネット)時代に最適な開発環境です。

ぜひ、Drupal 8 で社会に役立つ、豊かになるサービスや応用を作ってください。

追加説明項目(予定)

Managing users and permissions

Finding and evaluating modules for Drupal 8

第1章 Drupal を使ってみよう

Drupal 8 の簡単な使い方を、はじめて使う人向けに説明します。Drupal の使い方や機能は、Drupal コミュニティサイト (<https://www.drupal.org>) の英語資料や、今後出版されるさまざまなマニュアルや説明書籍、ネット検索を参考にして下さい。

サイトを作ってみよう

「さくらサッカークラブ」のホームページを作ってみましょう！



親善試合2016

Posted on: 3 April 2016 By: office

親善試合2016

概要 サッカーチーム友好のために親善試合を開催します。

場所 浅草フットボールコート



Tags: [親善試合](#) [さくらサッカークラブ](#)

[もっと読む](#)

ナビゲーション

- [Form builder example](#)

ユーザーログイン

ユーザー名*

パスワード*

- [アカウントの作成](#)
- [パスワードの再発行](#)

[ログイン](#)

管理画面へのログイン

まずは、ユーザーログイン画面がページに表示されていない場合は、サイト名の URL の後に、user

もしくは user/login でログイン画面を表示させます。 サイト名/user サイト名/user/login

ログイン

ログイン

アカウントの作成

パスワードを再設定

ユーザー名 *

Drupalでのユーザー名を入力してください。

パスワード *

パスワードを入力してください。

ログイン

ログイン後の設定

アカウントの設定

Drupal 8のインストール後デフォルト状態では、サイト訪問者がアカウント申請できる状態です。

スパムなどの対策としても、管理者だけがアカウント追加できる設定にしましょう。

管理をクリック



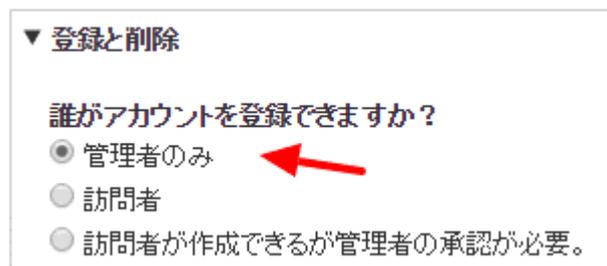
環境設定をクリック



ユーザー 「アカウントの設定」 をクリック



管理者のみに設定し、「設定を保存」をクリック



メンテナンスモード

開発時や Web サイトの更新作業など、一時的にサイト全体を非公開状態にする機能がメンテナンスモードです。ユーザー権限で、メンテナンスモードでもログインできるユーザー設定可能。

管理画面 → 環境設定 → 開発 メンテナンスモード



「サイトをメンテナンスモードにする」をクリック

メンテナンスモード ☆

ホーム » 管理 » 環境設定 » 開発

重要な更新を行う際にはメンテナンスモードを使用してください。例えばコンテンツの更新など、特にその更新がサイト訪問者や更新処理を混乱させる可能性がある場合に使用し

サイトをメンテナンスモードにする 

訪問者へはメンテナンスモードのメッセージだけが表示されます。"メンテナンスモードのユーザー"はユーザーログインページから直接ログインできます。

メンテナンスモードの際に表示するメッセージ

@site は現在メンテナンス中です。まもなく再開しますので、しばらくお待ちください。

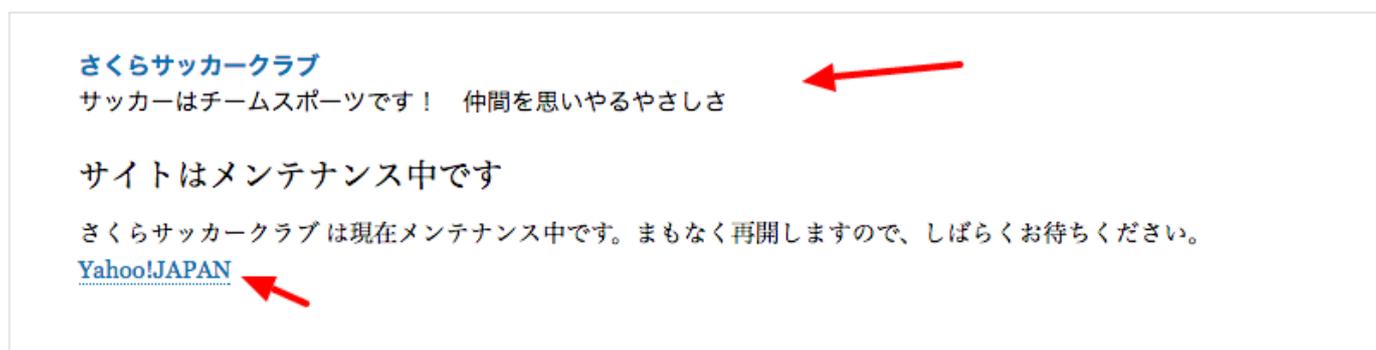
「メンテナンスモードの際に表示するメッセージ」には、文書や Drupal の管理画面で登録したデータなどを参照して表示する機能や、簡単な HTML タグを設定することができます。

メンテナンスモードの際に表示するメッセージ

@site は現在メンテナンス中です。まもなく再開しますので、しばらくお待ちください。
Yahoo!JAPAN

実際表示例、上部の2行は、サイト名、スローガンを表示しています。そのデータは、次に節で説明する、管理画面→環境設定→システム「**サイトの基本設定**」で設定しています。

最後のリンクはHTMLタグで設定。



サイト名の設定

設定は管理画面で行います。

管理画面 -> 環境設定 -> システム : サイトの基本設定

「**サイト名**」、「**スローガン**」などを設定します。この画面で記入したメールアドレスは、問合せの送信アドレスやユーザー登録などの管理者メールアドレスにも使われます。

サイト詳細

サイト名 *

さくらサッカークラブ

スローガン

サッカーはチームスポーツです！ 仲間を思いやるやさしさ

サイトで利用するテーマによって、使われる方法が変わります。

メールアドレス *

xxxxx@xxxxx

このような感じで、表示されます。Drupal 8 の標準デザインテンプレート Bartik の場合です、他のデザインテンプレートでは表示やデザインは異なります。



同じ「**サイトの基本設定**」のページで、「**フロントページ**」は、トップページの設定です。

Drupal では、「**コンテンツを追加**」でページを作成した際に、掲載オプションの「**フロントページに掲載**」をチェックすると、自動的に作成日付順にトップページに表示されます。

「**デフォルトのフロントページ**」は、現在の標準インストールしたデフォルトのトップページ以外のトップページに指定する場合のみ、そのページを記入します。たとえば、キャンペーンサイトや特別なランディングページを運用したい場合など。

フロントページ

トップページの記事数

10 ▼

トップページのように、記事が一覧として表示されるページの最大記事数。

デフォルトのフロントページ

http://debian1/work/book1/drupal/

「**エラーページ**」は、たとえば、登録会員のみアクセスできるページでエラー403が起きた場合、そのエラーページを事前に作成し、そのページの URL を設定することで、そのエラーページに自動的に移行します。 ページが見つからないエラー404 の場合も同様です。設定することで、たとえば、どのくらいエラーが起きているか、などのサイト分析に利用も可能です。設定しない場合は、すべてトップページに移行する設定です。

エラーページ

デフォルトの403(**access denied**)ページ

http://debian1/work/book1/drupal/

このページは、ページへのユーザーアクセスが拒否された際に表示されるページです。空白にすると、表示されます。

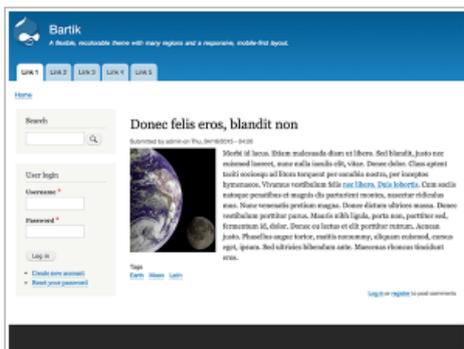
デフォルトの404(**not found**)ページ

http://debian1/work/book1/drupal/

ロゴの設定

管理画面 -> テーマ -> Bartik (デフォルトテーマ) の設定 をクリック

インストール済みテーマ



Bartik 8.2.0-rc1 (デフォルトテーマ)

多くのリージョンを持ったレスポンスでモバイルファーストなレイアウトの色設定が可能な柔軟なテーマ

[設定](#)



ページの下部「**LOGO IMAGE**」、「**FAVICON**」のチェックを外し、参照から新しいロゴ画像をアップロードします。アップロードされると以下のようなパスが設定されます。

▼ LOGO IMAGE

Use the logo supplied by the theme

カスタムロゴへのパス

sam-uy-futbolista-soccer-player-50x68px.png

例: sam-uy-futbolista-soccer-player-50x68px.png (パブリックのファイルシステムにあるファイル用パス sites/default/files/sam-uy-futbolista-soccer-player-50x68px.png)

ロゴ画像のアップロード

ファイルを選択 選択されていません

独自のロゴをアップロードしたい場合は、ローカルの画像ファイルへのパスを入力してください。

以下のようなロゴを設定してみました。



「FAVICON」はファビコンを設定します。操作はロゴと同じように。

「PAGE ELEMENT DISPLAY」で、表示する要素をデザインテンプレートごとに変更します。

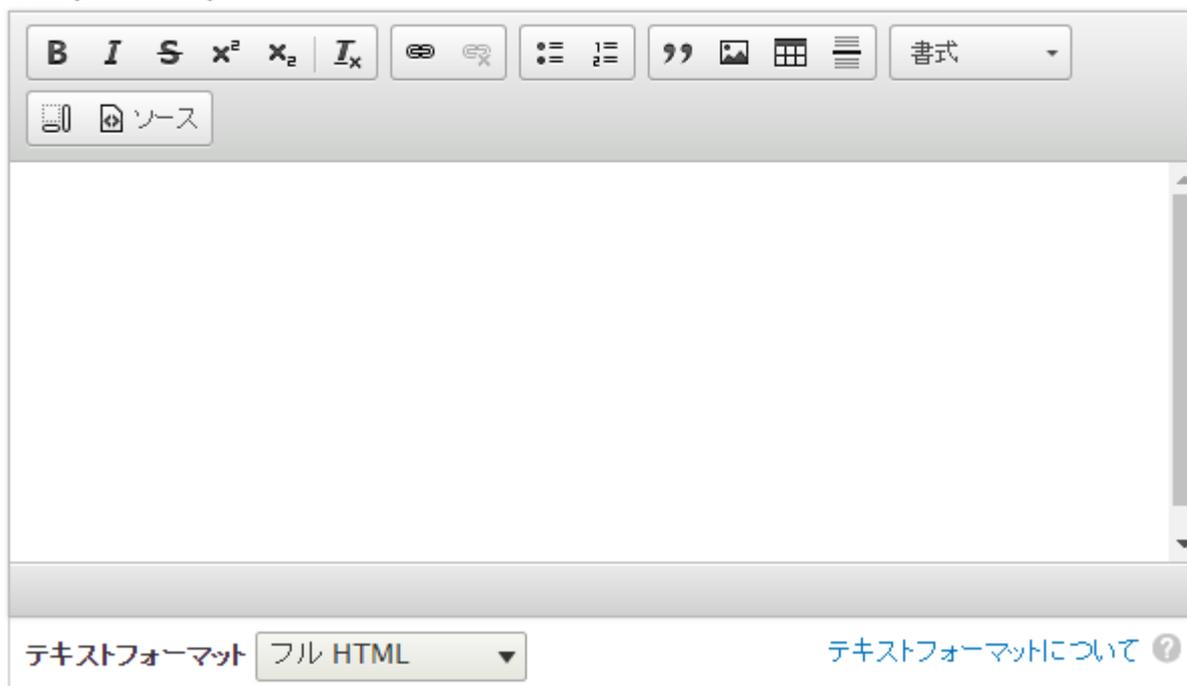
▼ PAGE ELEMENT DISPLAY

- 投稿でのユーザーアバター
- コメントでのユーザーアバター
- コメントの承認状況
- ショートカットアイコン

エディターの設定と機能追加

Drupal 8は、デフォルトでページの本文など作成するエディター（ブログのように文章や写真を作成する機能）CKEditorが使えます。下記は「フルHTML」のデフォルト状態です。

本文 (概要を編集)



CKEditor の設定

Drupal のエディター機能には、「ベーシック HTML」「制限付き HTML」や「フル HTML」などの設定プロフィールがあります。ベーシック HTML は簡易 HTML で、画像などの HTML タグが制限されています。フル HTML は画像を含めた、さまざま HTML タグが使えます。

制限付き HTML は HTML をそのまま書くことができますが、HTML タグに制限を設定しています。

デフォルトで使える HTML タグは、

```
<a href hreflang> <em> <strong> <cite> <blockquote cite> <code> <ul type>  
<ol start type> <li> <dl> <dt> <dd> <h2 id> <h3 id> <h4 id> <h5 id> <h6 id>
```

フィルター設定

許可する HTML タグを制限し HTML のまちがいを修正する 有効	リンクテキストの最長文字数 <input type="text" value="72"/> 文字 リンクテキストとして使用できる文字数の上限を入力してください。ここで指定された文字数より長いテキストは、体裁を崩すのを防ぐために切り落とされます。ただし、この文字数はリンクテキスト部のみ影響し、リンク(URL 文字列)自体には影響を与えません。
URLをリンクに変換 有効	

「フル HTML」の設定

管理画面 → 環境設定 → コンテンツ作成 テキストフォーマットとエディター → フル HTML

行のウェ-

名前	テキストエディター	役割	操作
⊕ ベーシック HTML	CKEditor	認証済みユーザー,管理者	設定 ▼
⊕ 制限付き HTML	—	匿名ユーザー,管理者	設定 ▼
⊕ フル HTML	CKEditor	管理者	設定 ▼
⊕ プレーンテキスト	—	このフォーマットは、他に利用可能なフォーマットが無い場合に表示されます。	設定

「設定」をクリックし、「**ツールバーの構成**」で利用可能な機能とボタンを追加設定します。

ツールバーの構成

ボタンをアクティブツールバーへ移動させると有効になり、**利用可能なボタン**へ移動させると無効になります。マウスやキーボードの矢印キーでボタンを移動させることができます。ツールバーグループの名前は、スクリーンリーダー利用者のサポートのために提供します。空のツールバーグループは、保存の際に削除されます。

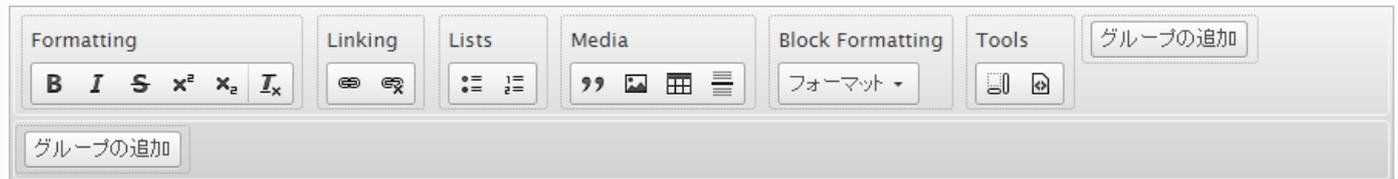
利用可能なボタン



ボタンディバイダー

グループ名を非表示

アクティブツールバー



「**グループ名を表示**」をクリック 既存グループやグループを追加し、「**利用可能なボタン**」から移動させます。

CKEditor のプラグイン設定

画像のアップロードディレクトリを設定、最大ファイルサイズは PHP 設定が反映されます。

CKEditorのプラグイン設定

言語	
トロッダウンのスタイル 設定されたスタイルがありません	
画像 アップロードが有効です。最大サイズ: 8 MB	<input checked="" type="checkbox"/> 画像アップロードを有効にする アップロードディレクトリ <input type="text" value="inline-images"/> アップロードされた画像を格納するディレクトリを、Drupal の files ディレクトリからの相対パスで指定してください。 最大ファイルサイズ <input type="text" value="8 MB"/> 空欄の場合は、PHPの最大アップロードサイズである 8 MB が限度となります。 最大画像サイズ 横幅 <input type="text"/> x 高さ <input type="text"/> ピクセル この画像サイズより大きな画像は縮小されます。

IMCE モジュールの追加

標準の CKEditor では、上記のアップロード先しか設定できません。



The image shows a dialog box titled "画像を挿入" (Insert Image) with a close button (X) in the top right corner. The dialog contains the following elements:

- A label "画像*" (Image*) followed by a text input field containing "ファイルを選択" (Select file) and "選択されていません" (Not selected).
- A label "代替テキスト*" (Alternative text*) followed by a text input field containing "視覚障害者のための簡潔な説明" (Concise description for visually impaired).
- A label "文字寄せ" (Text alignment) with four radio button options: "なし" (None), "左" (Left), "中央" (Center), and "右" (Right). The "なし" option is selected.
- A checkbox labeled "キャプション" (Caption) which is currently unchecked.
- A "保存" (Save) button at the bottom.

CKEditor で文章を作成しながら、写真やファイルをアップロードし、ディレクトリを管理できる IMCE (IMCE File Manager) モジュールを使うと便利です。

- IMCE モジュール ダウンロード <https://www.drupal.org/project/imce>

モジュールなどの説明資料は、ダウンロードページの右サイドメニューの「**Resource**」 Read Documentation で確認します。

Resources

- [Home page](#)
- [Read documentation](#) 
- [Read license](#)
- [Try out a demonstration](#)
- [View project translations](#)

ダウンロードファイルは、ページ下部の tar.gz ファイルまたは zip ファイルを選択し、マウスの右クリックメニューから「**リンクの URL をコピー**」を選択します。ブラウザにより表現が異なります。

Downloads

Recommended releases

Version	Download	Date
8.x-1.3 	tar.gz (73.23 KB) zip (106.05 KB)	2016-Jul-27
7.x-1.10 	tar.gz (62.49 KB) zip (72.82 KB)	2016-Mar-30

その状態で、機能拡張の画面に移行します。

管理画面 -> 機能拡張

「**新しいモジュールをインストール**」をクリック

+新しいモジュールをインストール

名前と説明でフィルター

モジュール名とデスクリプションの一部を入力

「次の URL からインストールする」に先ほどの CKEditor のリンクを貼り付け、「インストール」をクリック

次のURLからインストールする

`https://ftp.drupal.org/files/projects/imce-8.x-1.3.tar.gz`

For example: `http://ftp.drupal.org/files/projects/name.tar.gz`

IMCE モジュールのダウンロードのあと、「次のステップ」で次の操作を選択できます。実行できるようにする「新しく追加されたモジュールを有効にします」を選択。

次のステップ

- [別のモジュールをインストール](#)
- [新しく追加されたモジュールを有効にします](#)
- [管理画面のページ](#)

ページ移動後、機能拡張ページの下部にある「メディア」の IMCE をチェックし、「インストール」をクリックします。

▼ メディア

Imce File Manager ▶ Provides a file manager supporting personal folders.

インストール後、「Configure」をクリックして、設定画面に移行します。

▼ メディア

Imce File Manager ▼ Provides a file manager supporting personal folders.
Machine name: imce
バージョン: 8.x-1.3
🔑 権限 ⚙️ Configure 

IMCE モジュールの設定画面には、「**Configuration Profiles**」と「**役割りへのプロフィール割り当て**」があります。役割りへのプロフィールでは、ユーザー管理で追加したユーザーの役割りに対して、IMCE モジュールを役割りユーザーごとに設定します。

Configuration Profile を追加することで、さまざまユーザーの役割りに応じたプロフィールを追加管理できます。たとえば、管理者ユーザーの「**Admin profile**」を編集します。

Configuration Profiles

名前	説明	操作
Admin profile	Configuration for site administrators	 <input type="button" value="編集"/> ▼
Member profile	Configuration for site members	<input type="button" value="編集"/> ▼

「許可されている拡張子」「Disk quota」「Upload replace method」などは必要に応じて変更します。

許可されている拡張子

Separate extensions with a space, and do not include the leading dot. Set to * to allow all extensions.

最大ファイルサイズ

 MB

Maximum allowed file size per upload. Your PHP settings limit the upload size to *8 MB*.

Disk quota

 MB

Maximum disk space that can be allocated by a user.

Maximum image dimensions x ピクセル

Images exceeding the limit will be scaled down.

Upload replace method

- 既存のファイルを残し、新しいファイルの名前を変更する
- 新しいファイルで既存のファイルを差し替える
- 既存のファイルを残し、新しいファイルを拒絶する

「**FOLDERS**」では、画像や文書ファイルなどをアップロードするディレクトリを作成し、権限を「**All Permission**」に設定します。なお、最上部のルート/**・**の設定は、Drupal コアなどのディレクトリも含めたアップロード管理になります。一般のユーザーでは使いませんので、できれば、「**All Permission**」をチェック OFF にしましょう。

FOLDERS

You can use user tokens in folder paths, e.g. [user:uid], [user:name]. Subfolders inherit parent permissions when subfolder browsing is enabled.

1. <ルート>/

権限

All permissions

Browse files

Browse subfolders

Create subfolders

Upload files

Delete files

Delete subfolders

Resize images

2. <ルート>/ 

権限

All permissions

Browse files

Browse subfolders

Create subfolders

Upload files

Delete files

Delete subfolders

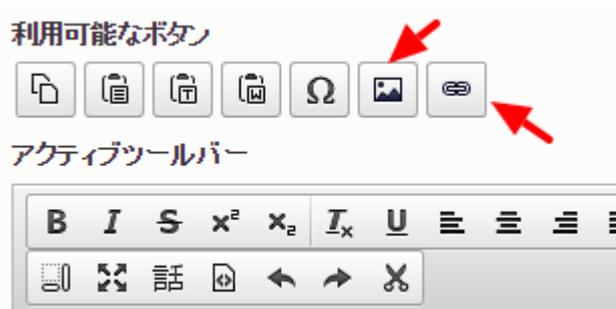
Resize images

設定を保存し、さらに追加する場合は、追加のディレクトリ設定が 2 種類、表示されます。

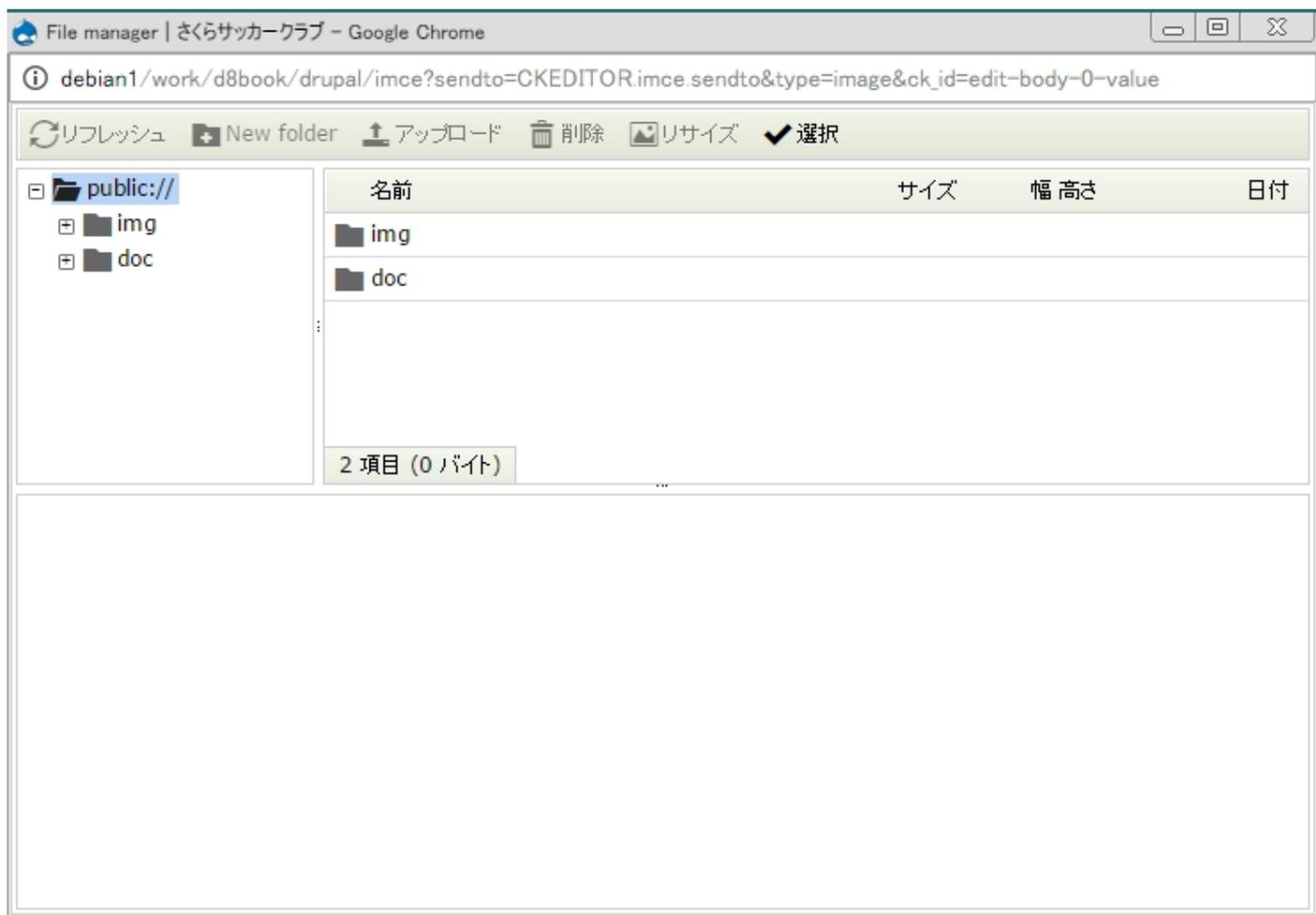
次に、IMCE モジュールを CKEditor で使えるように設定します。

管理画面 → 環境設定 → コンテンツ作成 テキストフォーマットとエディター → フル HTML

設定をクリック。 利用可能なボタン、IMCE モジュール用の 2 種類を「**アクティブツールバー**」に移動させます。  は、画像と IMCE と同じアイコンになりますが、マウスカーソルオン状態で説明が表示されますので、その違いを確認します。



実際のコンテンツ作成ページで、CKEditor から IMCE モジュールのアイコンをクリックすると、以下のようなファイル管理ウィンドウが表示されます。



ページの作成

サッカークラブの紹介ページを作りましょう。

管理画面→コンテンツの追加 をクリック



「基本ページ」と「記事」があります。違いは、写真を取り扱う機能が標準で付いているのが記事です。文章主体のページの場合は基本ページを使います。まずは、記事を選択

ホーム

記事

ニュースやプレスリリース、ブログの

基本ページ

「About us」のような、あまり更新さ

「記事」は、記事やニュース、簡単な情報をページとして公開するコンテンツを作成します。

「タイトル」に、ページのタイトルを記入します。「タグ」には検索キーワードとなる単語を記入し、複数の単語を記入する場合は、半角カンマで区切ります。「本文」は本文となり、ページの文章を記入します。本文のエディターはインストールした CKEditor を使います。

Title ***Tags**

Enter a comma-separated list of words to describe your content.

本文の「**概要を編集**」をクリックすると、サマリーの文章を記載することができます。サマリーに記載した文章は、「**トップページへ掲載**」オプションを有効にした場合、トップページにはサマリーの内容が表示され、「**続きを見る**」が表示され、クリックすると本文のページに移行します。

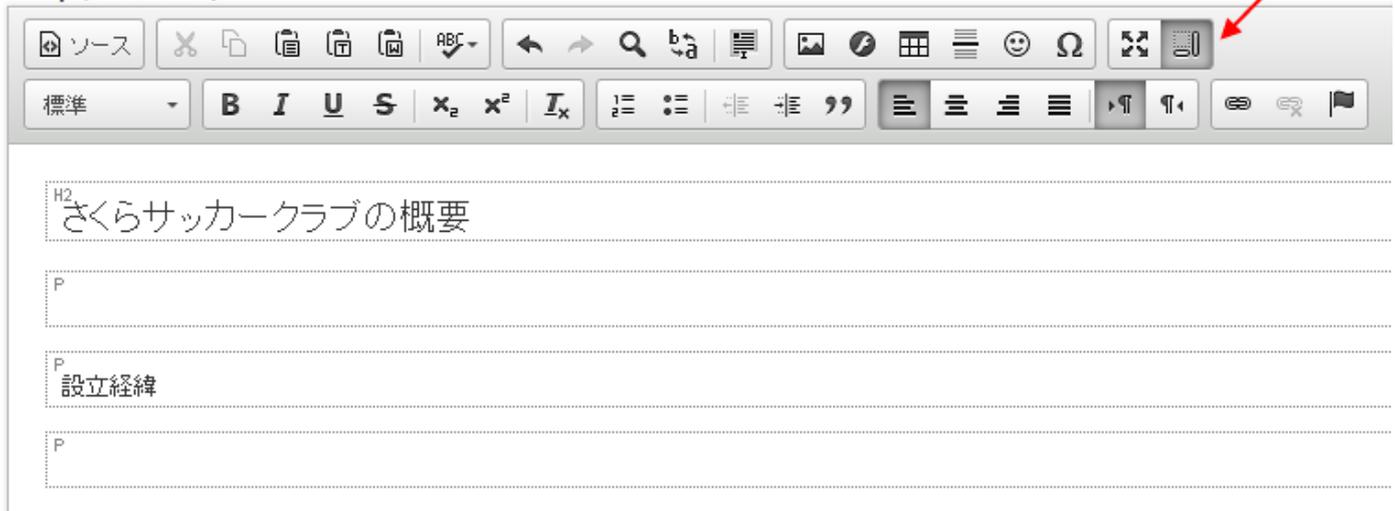
サマリー (概要を隠す)

空白にすると、本文を切り詰めたものを概要とします。

本文

便利な使い方として、ブロック表示のアイコンをクリックすると行単位のレイアウトがみやすく表示されます。

Body (概要を編集)



画像やスクリプトのような HTML タグを使う場合は、「テキストフォーマット」で「フル HTML」を選択します。

テキストフォーマット

- ウェブページアドレスとメールアドレスは、自動的にハイパーリンクに変換されます。
- 行と段落は自動的に折り返されます。

画像の設定は、「画像」の「ファイルを選択」をクリックして画像をアップロードする方法と、IMCE モジュールでアップロードする方法があります。

使い方は、ページのコンテンツを作成する際に、「画像」の「ファイルを選択」を使う場合は、決まったレイアウトで画像を使うような場合に適しています。IMCE モジュールなどは、ページのコンテンツ内で任意の場所に画像を配置するような場合に便利です。ニーズに応じて使い分けます。

「画像」の「ファイルを選択」は、[次章の第 2 章、コンテンツタイプの作成](#)で説明する、フィールド追加で設定します。[詳細は第 2 章にて](#)。

ファイルを選択して画像を追加してみましょう。「Article」の場合、デフォルトでは、画像は上記本文の上に表示される設定になっています。

画像



代替テキスト *

さくらサッカーチーム

このテキストは、音声読み上げソフト・検索エンジン・画像がロードできない際、などに利用されます。

 sam-uy-futbolista-soccer-player-50x68px.png (4.96 KB)

削除

本文欄に文章などを記載し、画像もアップロードしたら、「掲載」の下にある、いくつかのページ設定を行います。

「メニューの設定」の「メニューリンクを生成」でメインメニューに追加できます。「メニューリンクのタイトル」はなるべく短く設定しましょう。

「説明」にはマウスをメニューに移動した際に表示されるテキストを記載します。

「上位の項目」は複数のメニューを選択できますが、デフォルトのメインメニューのままです。

「**ウェイト**」はメニューが表示される位置を設定します。たとえば、ホームの右横であれば、**1**を選択します。

▼ **メニューの設定**

メニューリンクを生成

メニューリンクのタイトル

記事1

説明

メニューリンクの上をマウスがホバーしたときに表示されます。

上位の項目

<Main navigation> ▼

ウェイト

0

ウェイトの軽いメニューリンクは、よりウェイトの重いリンクの前に表示されます。

「**新しいリビジョンの作成**」は、版数管理などを行う場合や、ページ削除後に、元のページに復元したいときに便利です。さらに、承認・発行などのワークフロー関連モジュールでは、リビジョン機能を使って機能拡張しています。

新しいリビジョンの作成

リビジョンログメッセージ

ページを新規作成しました。

行った変更について簡単に説明します。

複数のリビジョンを作成した場合の管理画面

記事1 のリビジョン ☆

[ビュー](#)[編集](#)[削除](#)[リビジョン](#)

[ホーム](#) » [記事1](#)

リビジョンによって、コンテンツの複数のバージョンの差異を記録することができ、また古いバージョンに戻すことができます。

リビジョン	操作
10/27/2016 - 23:34 office が投稿 リビジョン2を作成しました。	現在のリビジョン
10/27/2016 - 23:33 office が投稿 ページを新規作成しました。	戻す ▼
10/27/2016 - 00:12 office が投稿	戻す ▼

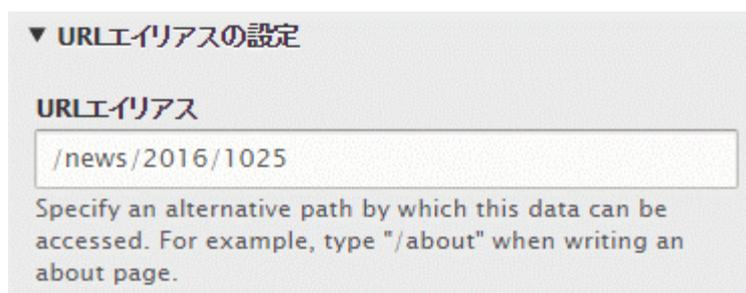
「コメント」は、必要でなければクローズドにしましょう。「コメントの設定」は、コメント機能を使う場合は、「オープン」を選択し、使わない場合は「クローズド」を選択します。

記事のデフォルトではコメント機能を選択できますが、いつも使わない場合は、[次章の第2章](#)で説明するコンテンツタイプの設定で、記事のコンテンツタイプの「フィールドの管理」、コメントのフィールドタイプを削除します。

▼ コメントの設定 *

- オープン
「コメントの投稿」権限を持つユーザーは、コメントを投稿することができます。
- クローズド
ユーザーはコメントを投稿できません。

「URLエイリアスの設定」は、表示される URL を自由に設定できます。たとえば、URL として、`http://ドメイン名/news/2016/1025` というような設定をする場合、`/news/2016/1025` を記入します。



▼ URLエイリアスの設定

URLエイリアス

Specify an alternative path by which this data can be accessed. For example, type "/about" when writing an about page.

Drupal のデフォルトは、ページの番号「**ノード番号**」 `node/1` が自動的に設定されます。URL エイリアスで `node/1` から `about` に変換しています。管理画面では、ノード番号を使います。

URL の動作を制御する便利なモジュールを追加すると、さまざまなパターンで自動化できます。

Pathauto モジュール <https://www.drupal.org/project/pathauto>

Pathauto

View

Version control

View history

Automated testing

Posted by [Dave Reid](#) on *February 15, 2005 at 9:06am*

The Pathauto module automatically generates URL/path aliases for various kinds of content (nodes, taxonomy terms, users) without requiring the user to manually specify the path alias. This allows you to have URL aliases like `/category/my-node-title` instead of `/node/123`. The aliases are based upon a "pattern" system that uses tokens which the administrator can change.



Requirements

- [Token](#)
- [CTools](#) (8.x-1.x only)

「**投稿の情報**」はページを作成したユーザーや日時が表示されます。

▼ **投稿の情報**

投稿者

office (1)

コンテンツ投稿者のユーザー名。

投稿日時

2016/10/27 00:03:28

フォーマット: 2016-10-27 23:45:54。フォーム送信時間を使用する場合は空にしてください。

もし、必要でない場合は、「**コンテンツタイプ**」の設定で変更できます。

「表示設定」 のチェックを外します。

投稿フォームの設定 タイトル	<input type="checkbox"/> 投稿者と日付の情報を表示 作成者のユーザー名と公開日付が表示されます。
掲載オプション 掲載, フロントページへ掲載, 新しい リビジョンの作成	
言語の設定 サイトのデフォルトの言語(Japanese)	
表示設定 投稿情報を表示しない	

「フロントページへ掲載のオプション」は、第3章で説明します。デフォルトの設定で。

▼ フロントページへ掲載のオプション

フロントページへ掲載

リスト上部に固定

これで、「保存」をクリック。さくらサッカークラブについてのページができ、トップページに見出し表示スタイル（**ティーザー**）で自動的に表示されます。「**リスト上部に固定**」は、フロントページなどに掲載した場合、複数の記事が掲載され、その中でも上部に表示させます。

[ホーム](#)

Search



Tools

[コンテンツを追加](#)

記事1

[ビュー](#)[編集](#)[削除](#)[リビジョン](#)[office](#) が 2016/10/27 (木) - 00:03 に投稿

さくらサッカーチームからのお知らせ

今年度の活動報告

来年度の活動予定

会長のご挨拶

もし、画像を本文の上から下に変更したい場合は、

管理画面 -> サイト構築 -> コンテンツタイプ -> 記事 : 表示管理

画像のフィールドにある「ドラッグして並び替える」アイコンを使って移動させるか、「**行のウェイトを表示する**」で数値入力します。

フィールド	ラベル	フォーマット
 画像	- 非表示 - ▼	画像 ▼
 本文	- 非表示 - ▼	デフォルト ▼
 タグ	上部 ▼	ラベル ▼

「行のウェイト表示する」場合

フィールド	ウェイト	親	ラベル
画像	-1	- なし - ▼	- 非表示 - ▼
本文	0	- なし - ▼	- 非表示 - ▼
タグ	10	- なし - ▼	上部 ▼

クラブについてのページの画像は、上から下に変更になりましたが、トップページに表示される画像は、変更になっていません。トップページに表示する、「**ティーザー**」の設定を、コンテンツタイプ記事の表示管理で設定します。「**ティーザー**」をクリックします。

Default RSS **ティーザー** 

[ホーム](#) » [管理](#) » [サイト構築](#) » [コンテンツタイプ](#) » [Article](#) » [表示管理](#)

コンテンツタイプは、概要・全文・印字用・RSSなど様々な様式で表示されま
+

デフォルトと同じように、画像のフィールドを本文の下に移動させます。次に、ティーザーで表示される場合は、画像を小さく、サムネイルで表示させるために、画像のフォーマットにある設定アイコンをクリックして画像のスタイルを変更できます。「**画像のスタイル**」で「**サムネイル (100x100)**」を選択します。

フィールド	ラベル	フォーマット
✚ 本文	- 非表示 - ▼	概要か切り詰め ▼
✚ 画像	- 非表示 - ▼	フォーマットのセッティング。画像 画像のスタイル サムネイル (100x100) ▼ 画像スタイルの設定 画像へのリンク コンテンツ ▼ 更新 キャンセル



「**更新**」をクリックし、「**保存**」をクリックします。

画像のスタイル

「**画像のスタイル**」は以下の管理画面でオリジナルサイズや画像の加工などを設定登録し、サイト内のさまざまコンテンツで表示設定を管理します。

管理画面 -> 環境設定 -> メディア： 画像スタイル -> スタイルの追加 -> スタイル名設定

「新しいエフェクトを選択」で、トリミング、カラーなど、さまざま設定を選択できます。新規に追加する場合は、「画像スタイルを追加」をクリックします。

画像スタイル名称を入力し、「新しいエフェクトを選択」をクリックし、「変換」「トリミング」「グレースケール化」「リサイズ」「回転」「尺度」「拡縮とトリミング」の中から選択します。

ホーム » 管理 » 環境設定 » メディア » 画像スタイル

プレビュー

オリジナル (実サイズで表示)



600px

800px

Club Mark small (実サイズで表示)



600px

800px

画像スタイル名称 *

Club Mark small

システム内部名称: club_mark_small [編集](#)

[行のウェイトを表示する](#)

効果	操作
このスタイルには現在何もエフェクトが設定されていません。下のオプションから一つ選択してください。	
<input button"="" type="button" value="追加"/>	

尺度 200x200 で設定した場合

効果	操作
✦ 尺度 200×200	編集 ▼
✦ <input type="text" value="新しいエフェクトを選択"/> ▼	追加

記事のコンテンツタイプ設定変更し、今作成した画像スタイルを適用すると表示が変わります。

管理画面→サイト構築→コンテンツタイプ→記事：表示管理→画像フィールド：設定

画像のスタイルで、作成したスタイルを適用

フィールド	ラベル	フォーマット
✦ 本文	<input type="text" value="- 非表示 -"/> ▼	<input type="text" value="デフォルト"/> ▼
✦ 画像	<input type="text" value="- 非表示 -"/> ▼	フォーマットのセッティング。画像 画像のスタイル <input type="text" value="選手名簿写真"/> ▼ 画像スタイルの設定 画像へのリンク <input type="text" value="なし"/> ▼ <input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

先ほど作成したトップページに戻ると、画像が下になり、サイズも小さくなりました。



さくらサッカークラブについて

作成者:office 作成日:火, 01/19/2016 - 20:28

ナビゲーション

▶ [コンテンツの追加](#)

さくらサッカークラブの概要

設立経緯

活動拠点

活動内容

Tags:

[サッカークラブ](#) [さくらサッカークラブ](#)



第2章 チームメンバーのページを作ろう

Drupal 8のデフォルトインストールにある「記事」と「基本ページ」だけでページを作成し、シンプルなWebサイトを作る場合は、これから説明する **コンテンツタイプの作成** はスキップして下さい。 [第3章 お知らせのページを作ってトップページに表示](#) から始めて下さい。

コンテンツタイプの作成

コンテンツタイプとは

「記事」「基本ページ」もコンテンツタイプです。データを登録するページやコンテンツなどを作るときにコンテンツタイプを使い、そのデータの構成、たとえば、写真、日付、文章、単語、メールアドレスなど、さまざまなデータを組み合わせます。その作成環境をDrupalではコンテンツタイプといいます。

詳細は以下の英語の説明資料を参考にして下さい。

<https://www.drupal.org/docs/7/nodes-content-types-and-fields/working-with-content-types-and-fields-drupal-7-and-later>

Working with content types and fields (Drupal 7 and later)



Last updated on September 15, 2016 - 19:20

In Drupal, a **Content Type** is a pre-defined collection of data types (Fields) which relate to one another by an informational context. In this sense, "context" means "parts that should be considered as a correlated whole".

Content Types define default fields for editors to add content on a Drupal site and are the building blocks for structured authoring and content. Content types often work in conjunction with [Views](#), which is one way you can serve up content to your end users; you can control the content types that appear and the order in which they appear. Developers can also customize the authoring experience in the same way.

“ One way to think of content types is to visualize the contacts on your mobile phone. If you were to duplicate this on a Drupal site you would

Nodes, content types and fields

About nodes

Working with content types and fields (Drupal 7 and later)

Create a custom content type

Add a field to a content type

Rearrange the order of fields

Specify how fields are displayed

Import and Export of content-types, fields, panel or views-structure

Tags

update

管理画面 -> サイト構築 -> コンテンツタイプ

コンテンツタイプ ☆

ホーム » 管理 » サイト構築

+コンテンツタイプの追加

名前	説明	操作
基本ページ	「About us」のような、あまり更新されない内容の場合は 基本ページを使ってください。	フィールドの管理 ▼
記事	ニュースやプレスリリース、ブログのような時系列が重要なコンテンツには 記事を使ってください。	フィールドの管理 ▼

「記事」には画像のアップロード機能がありますが、コンテンツの追加で「基本ページ」を選択すると、画像のアップロードやタグなどは使えません。Drupal 8 では、コンテンツタイプで、デフォルトの「記事」や「基本ページ」のページ構成を設定しています。Web サイトで必要なコンテンツや機能を新しいコンテンツタイプでホームページを管理します。

さらに、複数のコンテンツタイプを定義して、ページを作成できる人、ページを公開する権限設定を簡単にユーザーとグループで管理できます。たとえば、[コンテンツアクセスモジュール \(Drupal8 対応作業中\)](#) などで。

チームメンバーの紹介ページを作ろう

チームメンバー紹介のページを作る場合は、たとえば、メンバーごとのページを作り、そのページに、名前、ポジション、プロフィール、写真、などを記載するフィールドを作成します。

ページ構成の概念

名前

ポジション

プロフィール

写真

新規作成する各フィールドのデータのタイプは

- 名前 テキスト
- ポジション テキスト
- プロフィール テキスト長い文章
- 写真 画像

コンテンツタイプを作成しましょう

管理画面 -> サイト構築 -> コンテンツタイプ

「コンテンツタイプの追加」で新しいコンテンツタイプを追加します。

コンテンツタイプの名前、システム内部名称「編集」をクリック（データベースの定義になるので、認識しやすい名称を半角英数字とアンダースコアで作成）

名前 *

チームメンバー システム内部名称: [\[編集\]](#)

このコンテンツタイプの表示用名称。コンテンツの追加ページのリスト内に表示される。名称は他と重複してはいけません。

後でわかりやすいように、説明も記入します。

名前 *

チームメンバー システム内部名称: chimumenha [\[編集\]](#)

このコンテンツタイプの可読名称。この文字列は、コンテンツ追加ページでリストに表示されます。

システム内部名称 *

team_member

このコンテンツタイプの固有のシステム内部名称。半角英数字とアンダースコアのみ利用できます。

説明

さくらサッカーチームのメンバー紹介

「投稿フォームの設定」はタイトルのラベルを定義し、作成したコンテンツのページを保存し発行する際にプレビューを表示して確認する設定が可能です。「任意」は保存するときにプレビューを選択できる設定。「説明や投稿のガイドライン」は、このコンテンツタイプで編集するときに、ペ

ページの上部にメッセージなどを表示させることができます。ページ作成の注意事項などを表示させることもできます。実際の公開されるページには表示されません。

投稿フォームの設定 タイトル	タイトルフィールドのラベル * タイトル
掲載オプション 掲載、フロントページへ掲載、新しいリビジョンの作成	投稿前にプレビュー <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 必須
言語の設定 サイトのデフォルトの言語 (Japanese)	説明や投稿のガイドライン

「**掲載オプション**」で、フロントページに掲載と設定すると、チームメンバーのページを作成したときに同時にトップページにも表示されます。

投稿フォームの設定 タイトル	デフォルトオプション <input checked="" type="checkbox"/> 掲載 <input checked="" type="checkbox"/> フロントページへ掲載 <input type="checkbox"/> リスト上部に固定 <input checked="" type="checkbox"/> 新しいリビジョンの作成 ノードの管理権を持ったユーザーは、
掲載オプション 掲載、フロントページへ掲載、新しいリビジョンの作成	
言語の設定 サイトのデフォルトの言語 (Japanese)	

「**表示設定**」は「**作成者と日付情報を表示。**」を外し、「**メニューの設定**」はデフォルトの「**メインメニュー**」です。Drupal 8 からコメントは独立したコンテンツタイプとして管理します。その他

のメニューは、管理画面ページに表示されるメニューや自分で追加したメニューなどを設定できます。



「デフォルトの親項目」は、このコンテンツタイプで作成するときに、デフォルト設定を変更する場合に設定します。

「保存しフィールドを追加」をクリック

フィールドの追加

+フィールドの追加

ラベル	システム内部名称	フィールドタイプ	操作
Body	body	テキスト(フォーマット適用・長文・サマリー付き)	編集

•メンバーの名前を追加

「フィールドの追加」をクリック

新しいフィールドの追加

- フィールドタイプを選択 -

既存のフィールドを再利用

または

- 存在するフィールドから選択 -

保存して次へ

「フィールドタイプを選択」で「テキスト(プレーン)」を選択し、フィールドの「ラベル」は、英数字の場合は「**システム内部の名称**」もそのままの英数字になりますが、ラベルが日本語の場合は「**編集**」をクリックして、英数字で設定します。

この名称はデータベースのフィールド名になるので、なるべく、後で参照や設定画面で何のコンテンツタイプのようなデータなのか、わかりやすいようにしましょう。

新しいフィールドの追加

テキスト(プレーン)

既存のフィールドを再利用

または

- 存在するフィールドから選択 -

ラベル *

name

システム内部名称: field_name [編集]

フィールドの「**最大長**」、「**値の許容範囲**」はデフォルトで。「**ヘルプテキスト**」、「**デフォルト値**」などもデフォルトで。

ラベル	システム内部名称	フィールドタイプ	操作
Body	body	テキスト(フォーマット適用・長文・サマリー付き)	編集
name	field_name	テキスト(プレーン)	編集

これで、チームメンバーの名前のフィールドができました。

・メンバーのポジションを追加

同じ手順で、メンバーのポジションを設定します。

ポジション	field_position	テキスト(プレーン)	編集 ▼
-------	----------------	------------	------

・メンバーのプロフィールを追加

メンバーのプロフィールを作成します。長い文章になるのでフィールドタイプは「**テキスト(フォーマット適用・長文)**」を選択します。設定はすべてデフォルトで作成します。

プロフィール	field_team_member_profile	テキスト(フォーマット適用・長文)	編集 ▼
--------	---------------------------	-------------------	------

テキストのフォーマット適用は、CKEditor が使えるもので、プレーンはテキストボックスに記入するタイプです。

・メンバーの写真を追加

メンバーの写真は、フィールドタイプ「**画像**」を選択します。

「アップロード先」は、「パブリックファイル」がデフォルトですが、Drupal には「プライベートファイル」もあります。「プライベートファイル」を有効にすると、ログインしたユーザーだけがダウンロードできるファイルなどを管理できます。

複数の写真をアップロードする場合は、「値の数」で数を設定します。

アップロード先

パブリックファイル

ファイルが最終的に保存される場所を選択する。プライベートファイル保存は、パブリック保存に比べてはるかに大きなオーバーヘッド

▼ デフォルト画像

画像がアップロードされていない場合、この画像が表示されます。

画像

ファイルを選択 選択されていません

アップロードされた画像が無い場合に表示する画像。

代替テキスト

このテキストは、スクリーンリーダーや検索エンジンによって、あるいは画像を読み込めない場合に用いられます。

タイトル

title 属性は、画像の上にマウスが置かれた時、ツールチップに表示されます。

値の許容範囲

フィールド 写真 設定

フィールド 写真に適用された設定は、すべての利用

値の数

このフィールドで最大何個の値を入力できるかの値。

保存して、次へ

パブリックファイルへ保存するディレクトリに、デフォルトで以下のような値が設定されています。Yは年、mは月、たとえば、2016年10月の場合、2016-10になります。

ファイルディレクトリ

[date:custom:Y]-[date:custom:m]

アップロードされたファイルが保存されるサブディレクトリ(オプション)。前後にスラッシュをつけないようにしてください。

写真の属性も使いましょう。SEO対策やアクセシビリティの読み上げソフト対応にもなります。

Alt フィールドを有効にする

alt 属性は、検索エンジンやスクリーンリーダーによって、もしくは画像を読み込めなかった際に使用されます。このフィールドを有効にすることをおすすめします。

Alt フィールドは入力必須です

このフィールドを入力必須にすることをおすすめします。

これで写真のフィールドができました。

メンバー写真	field_member_photo	画像	編集
--------	--------------------	----	----

フォームディスプレイの管理

フォームディスプレイは、管理画面でコンテンツタイプの入力画面表示を管理します。

ホーム > 管理 > サイト構築 > コンテンツタイプ > Team member

異なるフォームモードでコンテンツアイテムを編集することができます。ここでは、チームメンバーのコンテンツを各フォームモードで編集する際に、どのフィールドを表示・非表示にするか、またフィールドのウィジェットをどのように表示するかを定義できます。

[行のウェイトを表示する](#)

フィールド	ウィジェット		
✦ タイトル	テキストフィールド ▼	テキストフィールドサイズ: 60	⚙️
✦ 言語	言語選択 ▼		⚙️

表示管理

実際に公開されるページやコンテンツの状態を管理します。デフォルト表示とティーザーを管理。

ラベルの位置、表示させるフィールドの順番、非表示、写真の属性などを調整します。

[行のウェイトを表示する](#)

フィールド	ラベル	フォーマット	
✦ リンク		表示 ▼	
✦ Body	- 非表示 - ▼	デフォルト ▼	
✦ name	上部 ▼	プレーンテキスト ▼	⚙️
✦ ポジション	上部 ▼	プレーンテキスト ▼	⚙️

「**Body**」フィールドは、備考欄として最下部に表示させ、何も記入しなければ表示されません。

写真は、オリジナル画像の右横にある設定アイコンをクリックし、画像のスタイル「**Medium**」を選択します。

写真

フォーマットのセッティング。 **画像**

画像のスタイル

画像へのリンク

以下ようになります。

[行のウェイトを表示する](#)

フィールド	ラベル	フォーマット	
+ リンク		<input type="text" value="表示"/>	
+ name	<input type="text" value="上部"/>	<input type="text" value="プレーンテキスト"/>	⚙
+ ポジション	<input type="text" value="上部"/>	<input type="text" value="プレーンテキスト"/>	⚙
+ プロフィール	<input type="text" value="上部"/>	<input type="text" value="デフォルト"/>	
+ メンバー写真	<input type="text" value="上部"/>	<input type="text" value="画像"/>	画像のスタイル: 中(220x220) ⚙
+ Body	<input type="text" value="-非表示 -"/>	<input type="text" value="デフォルト"/>	
無効			
+ 言語	<input type="text" value="上部"/>	<input type="text" value="-非表示 -"/>	

それでは、チームメンバーのコンテンツを追加してみましょう。

管理画面 -> コンテンツの追加 -> チームメンバー

コンテンツの追加で、作成画面では「**Body**」欄が上から2番目に表示されますが、コンテンツタイプの「**表示の管理**」にて、最下部に表示させる設定にしたので、表示されるページの最下部に表示されます。

Views でメンバー一覧ページ

Views モジュールは Drupal 8 から標準機能になりましたが、Drupal 7 では追加モジュールになります。Views を使うと、データベースからさまざまデータを選択し、表示させることを、スクリプトを書かないで、GUI 設定だけで可能です。大変便利でパワフルなモジュールです。

Views モジュール ダウンロード <https://www.drupal.org/project/views>

メンバーリスト検索表示でを使用した設定画面

Displays

The screenshot shows the configuration interface for a Views display named "Page". At the top, there are tabs for "Page", "Block", and "+ 追加", along with a link to "edit view name/description". The main content is organized into several sections:

- Page details:** Shows the display name as "Page" and a dropdown menu to "view Page".
- Fields:** Lists content fields including Title (タイトル), Profile (プロフィール), Position (ポジション), and Photo (写真). Each has a "追加" (Add) button.
- Filter Criteria:** Lists filter criteria such as "掲載 (はい)" (Published), "タイプ (= チームメンバー)" (Type), and "ポジション (exposed)". Each has a "追加" button.
- Sort Criteria:** Shows "Post date (desc)" as the sort criterion with a "追加" button.
- PAGE SETTINGS:** Includes "パス: /member-list", "メニュー: No menu", "Access: 権限 | 公開されたコンテンツを読む", "ヘッダー" (with "追加" button), "フッター" (with "追加" button), "PAGER" settings (Use pager: Full | Paged, 10 items), and "More link: いいえ".
- Advanced:** Contains several sub-sections:
 - CONTEXTUAL FILTERS:** "追加" button.
 - RELATIONSHIPS:** "追加" button.
 - NO RESULTS BEHAVIOR:** "追加" button.
 - EXPOSED FORM:** "Exposed form in block: いいえ", "Exposed form style: 基本 | 環境設定".
 - OTHER:** "Machine Name: page", "コメント: No comment", "Use AJAX: いいえ", "Hide attachments in summary: いいえ", "Hide contextual links: いいえ", "Use aggregation: いいえ", "Query settings: 環境設定", "Field Language: Current user's language", "キャッシュ: なし", "CSS class: なし", "Theme: Information".

メンバーリストをページで表示

メンバーリストと検索

ポジション (field_position)

Is equal to ▼

選択

リセット

タイトル	プロフィール	ポジション	写真
宮城進	フットボールクラブレスカ神戸 - ガンバ大阪ジュニアユース - 日本学園米子北高等学校 - 川崎アントラーズ - さくらサッカークラブ	ゴールキーパー	
田中健輔	宇佐フットボールクラブ, ジュニアユース - 大分トリニータU-15 - 大分トリニータU-18 - 大分トリニータ - サンフレッチェ広島	ミッドフィルダー	

ブロック（左サイドメニュー）で表示

メンバーリスト

- 宮城進
ポジション:
ゴールキーパー
写真:

- 田中健輔
ポジション:
ミッドフィルダー
写真:


活動拠点

活動内容

Tags:
サッカークラブ さくらサッカークラブ



第3章 お知らせページをトップページに表示

コンテンツタイプ「**Article**」のページにサッカーの試合のお知らせを作成し、トップページにも掲示します。

管理画面 -> コンテンツの追加 -> Article

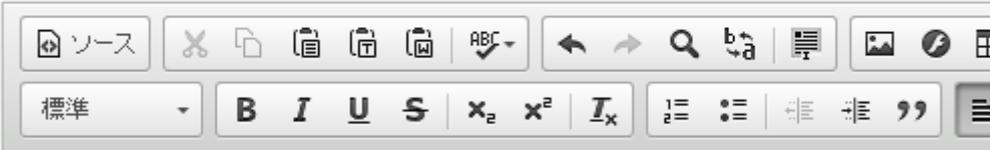
タイトルは、たとえば、親善試合 2016 と記入し、タグにも「**親善試合, さくらサッカークラブ**」と記載します。タグは、カンマ (,) で区切り、複数設定可能です。

Title *

Tags

 
Enter a comma-separated list of words to describe your content.

Body (概要を編集)



親善試合2016

「メニューの設定」は、「メニューリンクを生成」をチェックし有効にします。「メニューリンクのタイトル」には、デフォルトでそのページのタイトルが記入されます。さらに、ページのタイトルとメニューを別の表現に設定もできます。

メニューの設定 親善試合2016	<input checked="" type="checkbox"/> メニューリンクを生成
リビジョン情報 リビジョンなし	メニューリンクのタイトル 親善試合2016
URLエイリアスの設定 エイリアス: event/friendly-match/2016/0401	説明 メニューリンクの上をマウスがホバーしたと
コメントの設定 クローズ	

写真のアップロードは、「**ファイルを選択**」をクリックし、アップロードします。標準のアップロードでは、本文などの上か下などに表示されますが、本文中本文欄の任意の場所に画像を挿入する場合は「**インサート(Insert)モジュール**」を追加します。

ダウンロード <https://www.drupal.org/project/insert> し管理画面で有効にします。

管理画面 -> モジュール

Insert 7.x-1.3 Assists in inserting files, images, or other media into the body field or other text areas.

使用する Article のコンテンツタイプで、Insert モジュールを有効に設定します。

管理画面 -> サイト構築 -> Article -> フィールドの設定 -> Image 編集 をクリック



Insert 機能を有効に。

▼ INSERT

These options allow the user to easily insert an HTML t
insert a tag for images and a <a> tag for other

Enable insert button

Enable the insert button and options for this widget.

Use absolute paths

Includes the full URL prefix "http://debian1/work/book1

Enabled insert styles

SELECT ALL

Automatic

Link to file

本文中に画像を挿入したい場所にカーソルを移動します。CKEditor では、

ブロック表示のアイコンをクリックすると挿入が楽になります。

Body (概要を編集)

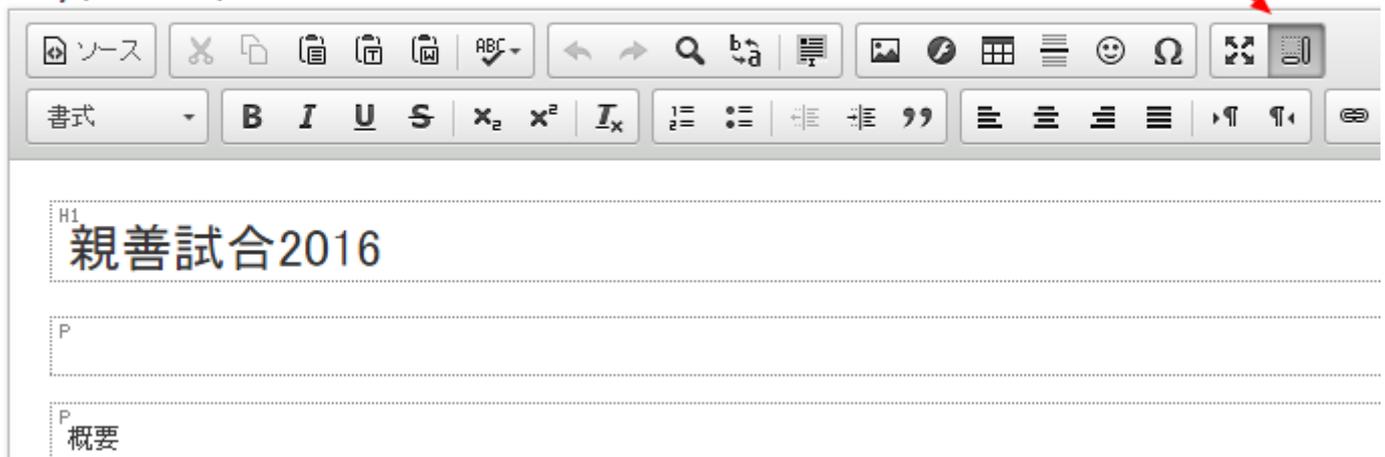


Image をアップロードし、「**style :**」で画像スタイルを選択し、「**Insert**」をクリック

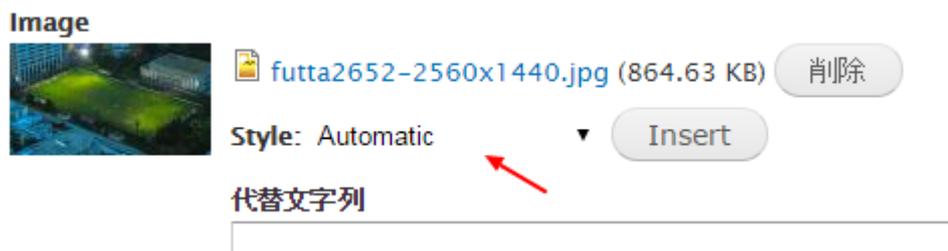


Image を本文中に挿入する場合は、本文の「**テキストフォーマット**」を Full HTML に変更してください。この設定は、管理画面の環境設定、テキストフォーマットにて調整します。

画像の表示設定は、画像を選択し、マウス右クリックメニュー、「**画像のプロパティ**」を選択し調整します。



「リビジョン情報」は変更なし、「URL エイリアスの設定」は、自分でそのページの意味を表現した URL にします。インターネット上での検索にも役立ちます。URL の最初は / を付けなくて記入します。Drupal 7 では、既に作成されている URL の場合は、「このエイリアスはすでに使われています。」という警告メッセージが表示され、ページを保存することができません。

<p>メニューの設定 親善試合 2016</p> <p>リビジョン情報 リビジョンなし</p> <p>URLエイリアスの設定 エイリアス: event/friendly-match/2016/0401</p>	<p>URLエイリアス</p> <p>event/friendly-match/2016/0401</p> <p>既存パスの代わりに使用したいパスの別名を入力して "about" と入力します。パスの指定には相対的、絶対的、正しく指定されないと URL エイリアス</p>
---	---

「コメント」は「クローズド」でそのまま、「投稿の情報」もそのままです。「掲載オプション」は、Article のコンテンツタイプにてデフォルトが「フロントページへ掲載」が有効になっていますので、そのままです。

この場合、保存するとトップページにも見出しとして表示されます。このような見出しを作って本文のページへリンクさせる動作スタイルは、Views モジュールで簡単に作ることが可能です。

トップページや作成した Article のページで、画像が 2 つ表示されます。

場所 浅草フットボールコート



Tags:

親善試合 さくらサッカークラブ



なぜなら、Insert モジュールで本文中に挿入した画像とアップロードした画像が表示されるためです。そこで、Insert 機能だけを使う場合は、コンテンツタイプの「Article」、「表示管理」で Image を非表示に設定します。

フィールド	ウェイト	親	ラベル	フォーマット
Body	0	-なし - ▼	<非表示> ▼	デフォルト ▼
Tags	1	-なし - ▼	上部 ▼	リンク ▼
非表示				
Image	2	-なし - ▼	<非表示> ▼	<非表示> ▼

ただし、この表示管理は「デフォルト」の場合は、「Article」ページの表示になります。トップページに表示される場合は、「ティーザー」の場合で、目的に応じて表示、非表示を管理できます。



「ティーザー」の場合も Image を非表示にします。これでお知らせのページができました。

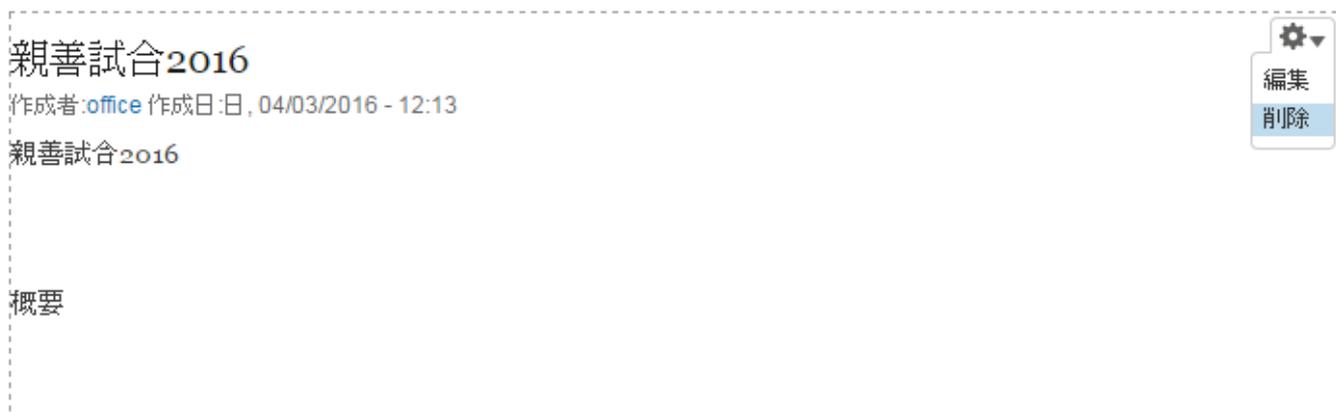
コンテンツの編集で便利な機能

Drupal 7 の標準コアに含まれている「Contextual links モジュール」を有効にすると、表示されているページやブロックから、直接、コンテンツを編集するページを呼び出すことができます。公開されているページを見ながら、修正する箇所をすぐに編集でき、大変便利です。

管理画面 -> モジュール -> Contextual links

- Contextual links 7.43 ページ内に表示されている要素上に、関係するリンクを表示できるようにする。 [ヘルプ](#) [権限](#)

コンテンツの右上にマウスを移動すると編集、削除や、翻訳などの機能ごとに表示されます。



ページを複製する機能

同じようなページを作成するときに、大変便利な Node clone モジュール

- Node clone モジュール ダウンロード https://www.drupal.org/project/node_clone

第4章 問合せページの作成

Drupal8 のコンタクトフォームを使って、問合せ画面を作りましょう。

コンタクトフォームにフィールド追加

管理画面 -> サイト構築 -> コンタクトフォーム

+コンタクトフォームの追加

フォーム	受信者	選択済み	操作
ウェブサイトフィードバック	hodota@gennai3.co.jp	はい	編集 ▼
パーソナルコンタクトフォーム	選択したユーザー	いいえ	フィールドの管理 ▼

SMTP モジュール

実際のテストは、インターネット上のサーバー環境であれば、送信可能ですが、社内などの環境からメールサーバーと連携できない環境では、SMTP モジュールを使うと大変便利です。指定したメール送信サーバー経由で送信できます。

- SMTP モジュール ダウンロード <https://www.drupal.org/project/smtplib>

第5章 メインメニューの設定

ここまでで、いくつかのコンテンツが作成されました。でも、メニューの位置は、順番があまり好ましくないなので、調整します。現在の状態は、たとえば、以下のようになっているとします。



親善試合2016

作成者:office 作成日:日, 04/03/2016 - 12:13

親善試合2016

概要 サッカーチーム友好のために親善試合を開催します。

メインメニューの編集

メニューの設定は、ページの編集でも可能ですが、管理画面で行います。

管理画面 -> サイト構築 -> メニュー

「Main menu」の「リンク一覧」をクリック。

+ メニューの追加

タイトル	操作
Main menu The <i>Main</i> menu is used on many sites to show the major sections of the site, often in a top navigation bar.	リンク 一覧 メニューを編 集 リンクを追 加
Management The <i>Management</i> menu contains links for administrative tasks.	リンク 一覧 メニューを編 集 リンクを追 加

「**行のウェイトを隠す**」をクリックし、簡単にメニューを上下に、階層も含めて移動ができます。

たとえば、メンバー紹介のメニューを新規作成し、その下にメンバーを移動させます。

まず、メンバー紹介のメニューを追加するには、「**リンクの追加**」をクリック。

メニューリンクのタイトル *

メンバー紹介

メニュー内でこのリンクを使う時に利用される文字列。

パス *

<front>

このメニューリンクのパス。 *node/add* のような Drupal 内部パスです。

「**パス**」は実際に作成したページがある場合は、その URL やノード番号などを記入しますが、**<front>** と記入すると、トップページになります。トップのメニューなどを作る時や暫定的にメニューを作る場合に便利です。

メニューの階層を表示させる場合は、「**展開して表示**」を有効にします。

- 有効
有効にされていないメニューリンクに
- 展開して表示
子メニューがあるメニューリンクで有

Drupal 7 の標準インストールで使っている「**Bartik**」というデザインテンプレートでは、メインメニューの階層表示ができません。もし階層表示メニューにする場合は、以下のメニューモジュールなどを追加し、設定が必要です。

- Nice Menus ダウンロード https://www.drupal.org/project/nice_menus
- Superfish ダウンロード <https://www.drupal.org/project/superfish>
- TB Mega Menu ダウンロード https://www.drupal.org/project/tb_megamenu

Superfish を使って Bartik で階層メニューの設定する手順

- Add drop down menu support to Bartik <https://www.drupal.org/node/1508652>

もしくは、次章のデザインテンプレートを変更することで、階層表示メニューに対応になります。

第6章 デザインテンプレートの変更

Drupal のデザインテンプレートは、無料から有料版まで、Drupal.org サイトやインターネット上でたくさん公開されています。ライセンスフリーで自由に加工できるデザインテンプレートは、以下のサイトで検索します。

- ダウンロード https://www.drupal.org/project/project_theme

Download & Extend Home Drupal Core Distributions Modules Themes

2,270 Themes match your search

Maintenance status

Development status

Core compatibility

Status

Search Themes

Sort by

たくさん公開されている中で、動作が軽快で使いやすい Nexus Theme を使ってみましょう。

- Nexus Theme ダウンロード <https://www.drupal.org/project/nexus>

***必要なモジュール**

- jQuery Update ダウンロード https://www.drupal.org/project/jquery_update

Nexus Theme

[View](#) [Version control](#) [Revisions](#)

Posted by [devsaran](#) on September 5, 2013 at 4:06am

Nexus theme is an elegant and flat responsive Drupal theme design by Devsaran. This theme could easily be used for a blog, small business, portfolio or a variety of other websites. The theme was designed using flat elements for the header, navigation, buttons and more. This sharp design is elegant, modern and functional. The clean elements are easy for users to understand and make navigating your website a pleasure.

Features

- **Responsive, Mobile-Friendly** Theme
- Simple, Minimal and Clean Design
- 1-column and 2-columns layout
- Mobile support (Smartphone, Tablet, Android, iPhone, etc)
- Flex Image Slideshow with Caption (Customizable)
- Multi-level drop-down menus (Multilingual menu)
- **HTML5** & super clean markup
- A total of **12 block regions**
- Drupal standards compliant and Supported standard theme features
- Google Font and nice typography
- Ideal for business, company and portfolio sites
- Detailed CSS rules for Typography, Forms Elements, Node Teaser, Comments, etc.

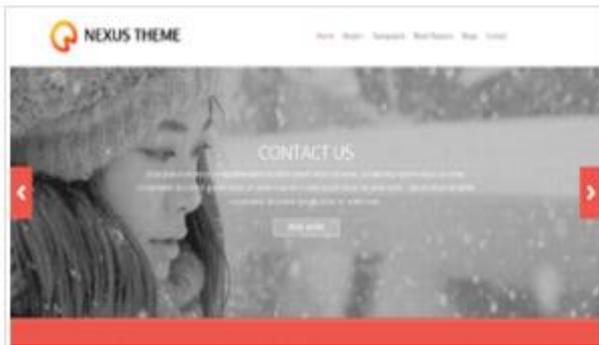


テーマのインストール

テーマのインストールもモジュールと同じ手順です。ダウンロードし、

管理画面 -> テーマ 新しいテーマをインストール

インストール後、「無効のテーマ」で、Nexus Theme を「デフォルトに設定」に変更し、テーマの状態を確認しながら、ブロックやメニューの設定を行います。

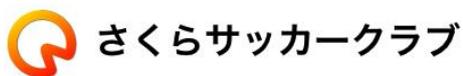


Nexus Theme 7.x-1.3

Nexus Theme is a premium Drupal 7 theme

[環境設定](#) | [無効](#) | [デフォルトに設定](#)

「デフォルトに設定」に設定後、トップを見ると以下のようになっています。



[Home](#) [クラブについて](#) [メンバー紹介](#) [親善試合2016](#) [お問い合わせ](#)



親善試合2016

Posted on: 3 April 2016 By: office

親善試合2016

概要 サッカーチーム友好のために親善試合を開催します。

場所 浅草フットボールコート



Tags: [親善試合](#) [さくらサッカークラブ](#)
[もっと読む](#)

ナビゲーション

- [Form builder example](#)

ユーザーログイン

ユーザー名*

パスワード*

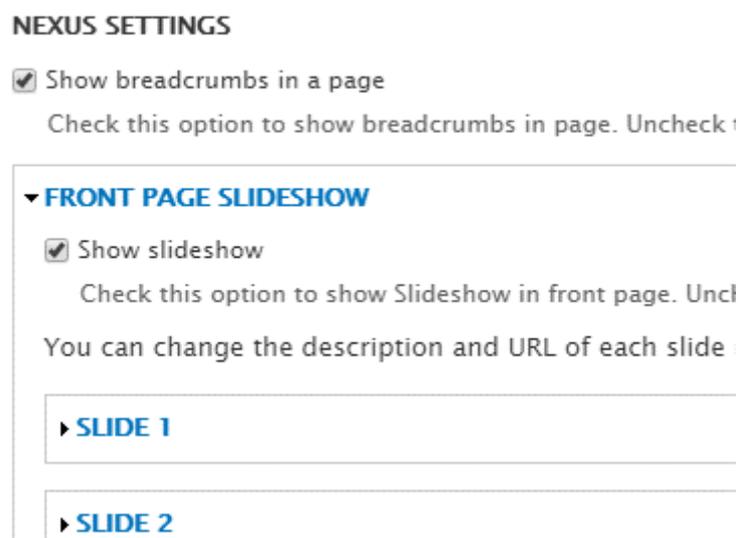
- [アカウントの作成](#)
- [パスワードの再発行](#)

メインメニューも階層表示となり、ロゴ、スライドショーの写真以外は、ブロックで好きなレイアウトにブロックを設定し、CSSを修正、デザインテンプレートを完成させることができます。

テーマの設定は

管理画面 -> テーマ -> Nexus Theme の環境設定

環境設定で設定できる内容は、「**共通の設定**」以外、デザインテンプレートごとに異なります。



スライドショーの写真を変更

Nexus Theme のスライドショーの写真は、テーマがインストールされた以下のディレクトリに保存されています。同じファイル名で入れ替えるとスライドショーの写真が変更になります。

(Drupal インストールディレクトリ) /sites/all/themes/nexus/images/slide-image-1.jpg

(Drupal インストールディレクトリ) /sites/all/themes/nexus/images/slide-image-2.jpg

(Drupal インストールディレクトリ) /sites/all/themes/nexus/images/slide-image-3.jpg

入れ替える写真の大きさは、デザインテンプレートの元写真と同じ 840x300 ピクセルにします。



スライドショーの写真に表示されるメッセージなどは、Nexus Theme の設定

管理画面 -> テーマ -> Nexus Theme 環境設定 -> Front Page Slideshow

▼ FRONT PAGE SLIDESHOW

Show slideshow

Check this option to show Slideshow in front page. Uncheck to hide.

You can change the description and URL of each slide in the following Sli

▼ SLIDE 1

Slide Headline

さくらサッカークラブ

Slide Description

川崎市内で活動している、さくらサッカークラブ ホームページのリニューアル

「Read More」のリンクは、「Slide URL」で URL を設定します。

ブロックの使い方

Drupal 7 のコンテンツ表示はブロックを使って、デザインテーマのテンプレートごとにブロックのレイアウトや種類が異なります。

管理画面 -> サイト構築 -> ブロック

[ホーム](#) » [管理](#) » [サイト構築](#)

このページではドラッグ&ドロップを用いて、ブロックをリージョンに割り当て異なるため、ブロックの設置はテーマごとに行います。ページ最下にある [設定リンク](#) をクリックするとタイトルや閲覧制限の設定ができます。

[ブロックリージョンのデモを見る \(Nexus Theme\)](#)

[+ ブロックを追加](#)



ブロック
First Sidebar

「[ブロックリージョンのデモをみる](#)」をクリックし、Nexus Theme のブロックレイアウトを確認できます。



Preface First

Preface Middle

Preface Last

ヘッダー

ホーム » Nexus Theme

First Sidebar

Content Top

Nexus Theme

ヘルプ

コンテンツ

フッター

First Bottom

Second Bottom

Third Bottom

Fourth Bottom

標準のブロックの他に、自分でブロックを作成し、レイアウトに追加してみましょう。

ブロックの編集画面は、Drupal 7 の標準インストールでは画像のアップロードがないので、本文欄のCKEditorで、ファイルアップロードができる「**IMCE モジュール**」をインストールします。

CKEditor でファイルのアップロード

- IMCE モジュール ダウンロード <https://www.drupal.org/project/imce>

IMCE 7.x-1.10 An image/file uploader and browser supporting personal directories and user quota. 🔍 権限 ⚙️ 設定

インストール後、設定画面の「**Role-Profile assignments**」で Administrator と承認済みユーザーを User-1 で設定します。承認済みユーザーとはユーザーアカウントを登録してログインしたときのユーザー、匿名ユーザーはサイト訪問者です。

Role-profile assignments

USER ROLE		パブリックファイル
サイトメンテナンスのアカウント		User-1
administrator	→	User-1 ▼
認証済みユーザー	→	User-1 ▼
匿名ユーザー		- なし - ▼

保存し、次に、「**Configuration profiles**」の User-1 を編集します。「**Directories**」には、アップロードするディレクトリを追加し、保存します。保存後、繰り返すことで追加可能です。

Directories

DIRECTORY PATH	BROWSE	アップロード	THUMBNAILS	削除	リサイズ
<ルート>/ <input type="text" value="."/> <input checked="" type="checkbox"/> Including subdirectories	<input checked="" type="checkbox"/>				
<ルート>/ <input type="text" value="img"/> <input checked="" type="checkbox"/> Including subdirectories	<input checked="" type="checkbox"/>				
<ルート>/ <input type="text" value="doc"/> <input checked="" type="checkbox"/> Including subdirectories	<input checked="" type="checkbox"/>				

IMCE モジュールの便利な追加モジュールとして、ディレクトリ作成モジュールもあります・

- IMCE Mkdir モジュール https://www.drupal.org/project/imce_mkdir

次に、CKEditor で IMCE モジュールが使えるように設定します。

管理画面 -> 環境設定 -> コンテンツ作成 -> CKEditor

「プロフィール」で Full を選択し、「File Browser settings」を選択し、IMCE を選択します。

▼ FILE BROWSER SETTINGS

Set the file browser settings. A file browser will images, or Flash movies. CKEditor is compatible integrated with [CKFinder](#), an advanced Ajax file

File browser type (Link dialog window)

IMCE ▼

Select the file browser that you would like to use to

File browser type (Image dialog window)

IMCE ▼

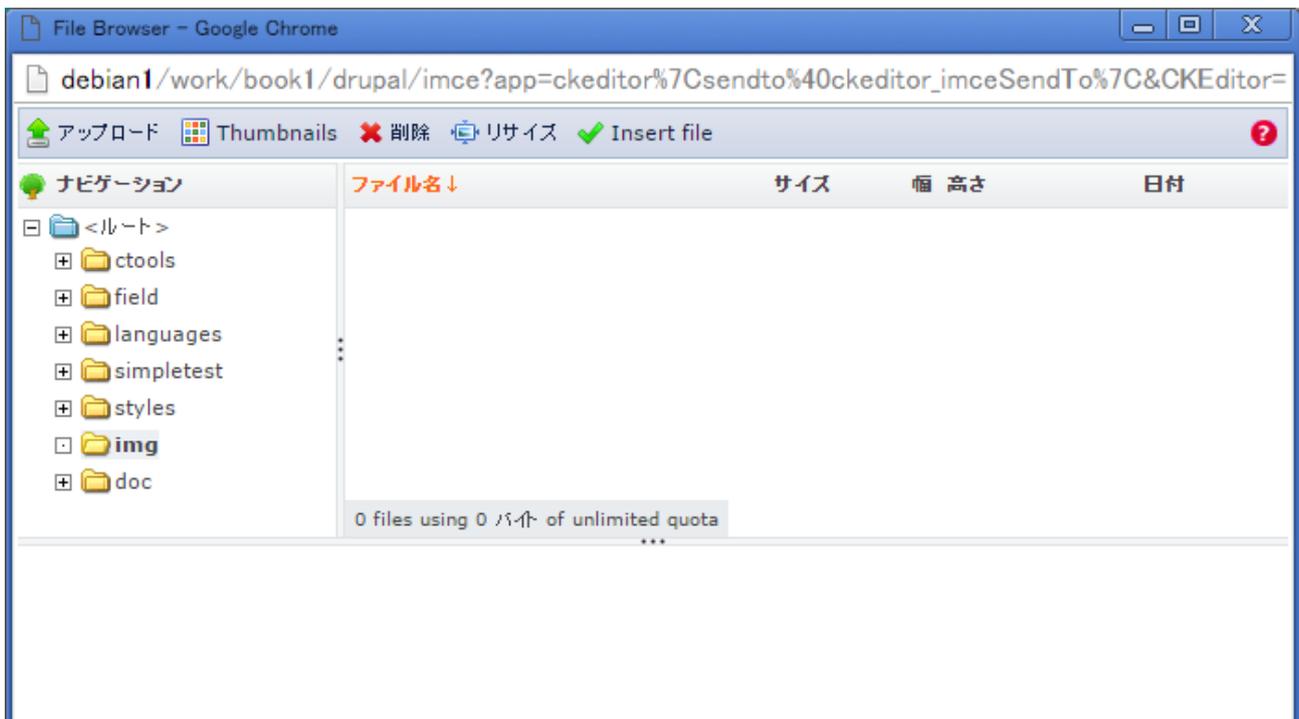
Select the file browser that you would like to use to

File browser type (Flash dialog window)

IMCE ▼

Select the file browser that you would like to use to

CKEditor で、「テキストフォーマット」は Full HTML に設定し、イメージのアイコンをクリックすると「画像のプロパティ」が表示されます。「サーバーブラウザー」をクリックし、ファイルブラウザーが表示。



「アップロード」をクリック、「ファイルを選択」でアップロードファイルを選択し、アップロードします。アップロードしたら、「ファイル名」でファイルを探して、下のプレビュー画面をクリックすると、そのファイルが挿入されます。

ブロックの追加

管理画面のブロックで「ブロックの追加」をクリックし、たとえば、[頑張ろうニッポン！サイト](#)へリンクするバナーを追加します。ブロックのタイトルは、ご協力お願いします と入力します。もしタイトルなしの場合は、<none>と記入。

ブロックのタイトル

ご協力お願いします

ユーザーに提示するブロックのタイトルを入力してください。

ブロックの説明 *

バナー1

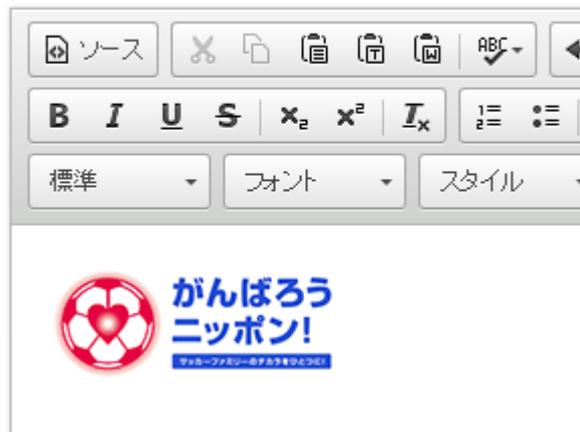
このブロックに関する簡単な説明です。ブロック管理ページで使われます。

ブロックの本文 *



IMCE モジュールでバナーファイルをアップロード、設定します。

ブロックの本文 *



バナーへのリンクは、バナーを選択し、「**リンク挿入/編集**」のアイコンをクリックして、その URL を設定します。

ブロックの場所は、Nexus Theme の First Sidebar を選択。「**ページ**」の「**特定ページでのブロック表示**」でトップページだけに表示させる場合は、「**以下のページのみ**」をチェックし、<front> と記入します。今回はすべてのページに表示させるため、何も記入しません。

ページ 制限なし	特定ページでのブロック表示 <input checked="" type="radio"/> 以下を除く全てのページ <input type="radio"/> 以下のページのみ
コンテンツタイプ 制限なし	
役割 制限なし	
ユーザー カスタマイズ不可	

「コンテンツタイプ」「役割」「ユーザー」は必要があれば設定します。保存し、ページで確認します。

ご協力をお願いします



ナビゲーション

- [Form builder example](#)
- [Variable example](#)
- ▶ [コンテンツの追加](#)

CSS の設定

Nexus Theme のデザインテンプレートのソースファイルは、以下の URL の下にあります。

(Drupal インストールディレクトリ) /sites/all/themes/nexus/

CSS ファイルは style.css と css ディレクトリにあります。メインのデザイン修正は styls.css で設定します。

ただし、デザインテンプレートのアップデートを実行すると、ソースファイルも更新されるので、CSS の修正箇所がわかるようにソースファイルを管理します。

CSS 設定関連の便利なモジュール

- Live CSS モジュール ダウンロード https://www.drupal.org/project/live_css
- CSS Injector モジュール ダウンロード
https://www.drupal.org/project/css_injector

Live CSS はブラウザから CSS ソースファイルを直接変更する機能があり、開発時だけ使います。

CSS Injector はデザインテンプレートのソースファイルは修正しないで、ページが表示される際に、CSS を再設定させます。

以上で、シンプルな Web サイト（さくらサッカークラブ）が完成し、[次章（第7章 アドミン環境設定）](#)を確認してから、ホームページを公開しましょう。

第7章 アドミン環境設定

作成した Drupal の Web サイトをインターネット上で公開するまえに、Drupal のアドミン環境で設定を確認しましょう。

メンテナンスモードとは

サイトを修正しているときなどは、メンテナンスモードに設定することで、一時的に公開しない状態にします。

管理画面 -> 環境設定 -> 開発 -> メンテナンスモード

サイトをメンテナンスモードにする 

有効にすると、「メンテナンスモードのサイトにアクセス」の権限を持っているユーザーのみで設定したメッセージが表示されます。この権限をもつユーザーはユーザーログインページ

メンテナンスモードメッセージ

さくらサッカークラブ は現在メンテナンス中です。まもなく再開しますので、しばらくお

「メンテナンスモードメッセージ」には、HTML タグも使えます。たとえば、

`</br>`

`お問合せ`



さくらサッカークラブ

サイトはメンテナンス中です

さくらサッカークラブは現在メンテナンス中です。まもなく再開しますので、しばらくお待ちください。

[お問合せ](#)

管理メニューについて

ログイン後の画面が管理メニューはプルダウンしないため、使いやすい Admin Menu モジュールを追加します。

- Administration menu モジュールダウンロード https://www.drupal.org/project/admin_menu

Administration Menu をインストールした場合、既存の Toolbar モジュールはメニューが重複するため、無効にします。

Toolbar 7.43 管理メニュー項目と別モジュールへのリンクがあるツールバーを利用する。 [ヘルプ](#) [権限](#)

ユーザー登録の権限

インターネットで公開する場合は、ユーザー登録権限は、安全のために、管理者だけにしましょう。誰でもユーザー登録申請ができる状態が、Drupal インストール後のデフォルト設定です。

管理画面 -> 環境設定 -> ユーザー アカウントの設定 -> 登録と削除

アカウントを登録できる人を「**管理者のみ**」に制限することをお勧めします。訪問者が登録できる状態では公開されるページやログインページなどに「**アカウントの作成**」が表示されます。

登録と削除

誰がアカウントを登録できますか？

- 管理者のみ 
- 訪問者
- 訪問者が作成できるが管理者の承認が必要。
- 訪問者がアカウントを作成する際にはメールの確認が必要
新しいユーザーは、サイトにログインする前にメールアドレス

キャッシュの管理

ページのコンテンツ更新後やデザインテンプレートのCSS設定などを更新するときに、Drupalのキャッシュをクリアすると便利です。

管理画面 -> 環境設定 -> 開発 -> パフォーマンス

キャッシュをクリアー

すべてのキャッシュをクリアー

キャッシュ

匿名ユーザー向けページをキャッシュする

ブロックをキャッシュする

「すべてのキャッシュをクリアー」で実行。

日付と時刻

日付の表示フォーマットは、英語の日付フォーマットがデフォルトです。日本語フォーマットを追加することができます。

管理画面 -> 環境設定 -> 地域と言語 -> 書式

+ 書式を追加 

フォーマット
カスタム日付型が設定されていません。 新しい日付型を追加する。

「**書式を追加**」をクリックし、たとえば、年 月 日 と表示させる場合は、Y年 Md日 を記入し保存します。

書式文字列 *

2016年4月07日 として表示
ユーザー定義日付フォーマット。利用可能な文字列は[PHPマニュアル](#)を参照ください。

Y年Md日(D)	2016年4月07日(木)
Y年m月m日(D)	2016年04月04日(木)
Y年n月j日l	2016年4月7日 木曜日

「**データタイプを追加**」をクリックし、作成した日付フォーマットを追加します。

日付型 *

日付の書式 *

Drupalの管理画面で、コンテンツタイプやViewsなどの設定画面にて、「**日付の書式**」という選択項目に、追加作成した日本語フォーマットを設定できます。

第8章 多言語サイトの設定

Drupal 7 は標準で多言語対応の機能は含まれていますが、メニュー、タクソノミー、ブロックなど、さまざまなモジュールとの連携は、国際化モジュールをインストールします。

- Internationalization ダウンロード <https://www.drupal.org/project/i18n>

本書はDrupalをはじめて使う時を想定しています。多言語の設定は、今後、多言語化の入門書を作成します。

- 参考までに 英語の設定マニュアル <https://www.drupal.org/node/133977>

Internationalization (i18n) module

[View](#) [Edit](#) [Revisions](#)

Last updated June 19, 2015. Created on April 5, 2007.

Edited by [nicrodgers](#), [SebaZ](#), [frederickjh](#), [Kristen Pol](#). You can [edit this page](#), too.

This is a complete manual and step-by-step guide for building multilingual websites with Drupal and the *Internationalization* (i18n) package.

Drupal 7.x has some built-in multilingual support to provide a localized user interface and translatable content. However, not everything is yet localizable/translatable. This package tries to fill the gaps that still exist. A few of the important features which the *Internationalization* package provides are:

- A proper multilingual menu system
- Multilingual blocks
- Multilingual taxonomy

The features of the *Internationalization* package are split into submodules, which are documented in the [submodules section](#) of this manual. You should generally not enable all of the *Internationalization* package submodules but, instead, enable them as you need them.

-
- ▶ [HowTos, tutorials and links](#)
 - [Related modules](#)
 - ▶ [Submodules](#)
 - [Translating user-defined strings](#)
 - [Upgrade from Drupal 6 to Drupal 7](#)
 - [Using the i18n API from other modules](#)
 - ▶ [Compatibility with contributed modules](#)
 - [Some sample sites](#)
 - ▶ [Internationalization 6.x](#)
 - ▶ [Legacy: Internationalization 5.x](#)

[◀ Modules for localization and internationalization \(Drupal 7 and earlier\)](#)

[up](#)

[HowTos, tutorials and links ▶](#)

第9章 タクソノミーとは

概念

タクソノミーとは、難しい言葉ですが、特定領域での構成要素の分類基準の意味で用いられています。Drupal 7 の標準機能でもタクソノミーが組み込まれています。

管理画面 -> サイト構築 -> タクソノミー

タクソノミーはコンテンツを分類します。タームはボキャブラリーで分類されます。例えば、「フルーツ」というボキャブラリーには、「リンゴ」や「バナナ」というタームが含まれます。

[+ ボキャブラリーの追加](#)

[行のウェイトを表示する](#)

ボキャブラリーの名称	操作		
+ Tags	ボキャブラリーの編集	タームのリスト	タームの追加

タクソノミーはコンテンツの分類を「**ボキャブラリー**」で分類管理し、その下に「**ターム**」ということばで管理します。たとえば、

<u>ボキャブラリー</u>	<u>ターム (親)</u>	<u>ターム (子)</u>	
やさい	じゃがいも	男爵	メークイン
	ピーマン	赤ピーマン	黄色ピーマン
果物	りんご	ふじ	紅玉

タームは親子関係（階層）を作れます。たとえば、やさいを定義し、その選択肢を選ぶ場合、タクソミーのタームを参照することで、データベース構成の共通項目として使います。

また、Drupal 7 の標準機能のタグに登録した単語は、自動的にタクソミーの Tag のボキャブラリーのタームに登録されます。

ドラッグ&ドロップハンドルで、Tags のタームを再構成できます。親タームの下や親タームより右へスライドさせるとタームを親タームに分類できます。

[+ タームの追加](#)

[行のウェイトを表示する](#)

名前	操作
+ さくらサッカークラブ	編集
+ サッカークラブ	編集
+ 親善試合	編集

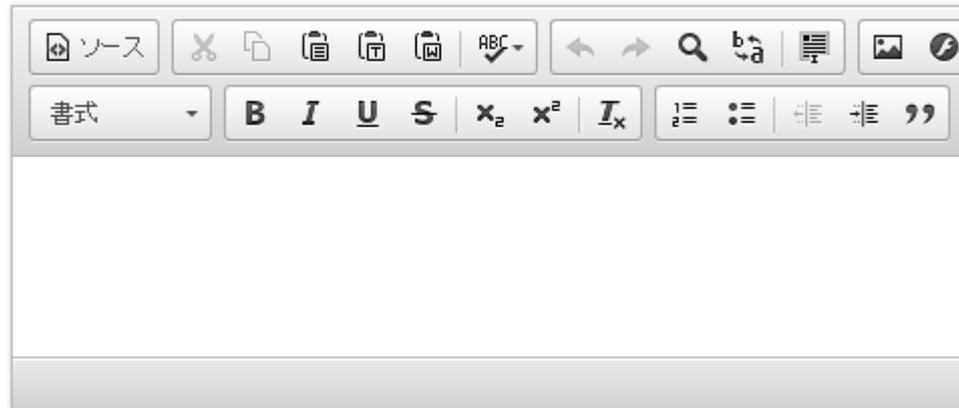
タクソミーに登録されたタームは、そのタームの名称のページを作成します。説明文章や URL エイリアスを定義することで、インターネットの検索キーワード対策にも役立ちます。

[ホーム](#) » [さくらサッカークラブ](#)

名前 *

さくらサッカークラブ

説明



A rich text editor interface. The top toolbar includes icons for source code, undo, redo, copy, paste, link, unlink, list, and image. Below the toolbar is a row of text formatting buttons: Bold (B), Italic (I), Underline (U), Strikethrough (S), subscript (x₂), superscript (x²), and text color (I_x). To the right of these are alignment buttons: left, center, right, and justified. Below the toolbar is a large, empty text area for entering content.

[Switch to plain text editor](#)

テキストフォーマット

- ウェブページアドレスとメールアドレスは、自動的にハイパーリンクに変換されます。
- 使用できるHTMLタグ: <a> <code>
- 行と段落は自動的に折り返されます。

URLエイリアス

この単語を使ってアクセスできるようにする追加の代替URL。相対パスを使い、最後にスラッシュ

タクソノミーのボキャブラリーとタームをコンテンツタイプで連携する方法を説明

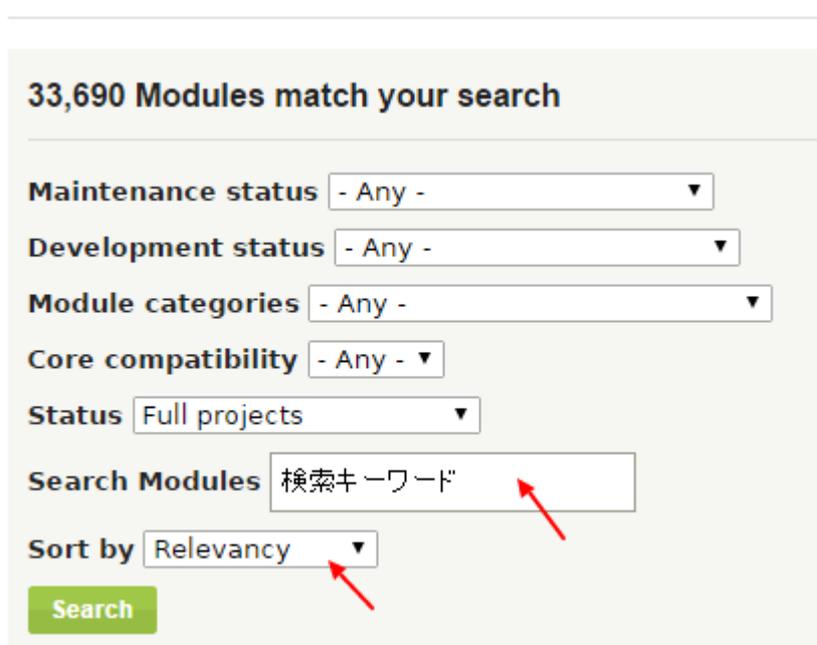
コンテンツタイプのフィールドと連携

第 10 章 便利なモジュール

モジュールの検索は以下のサイトから

https://www.drupal.org/project/project_module

Search Modules に検索したいモジュールのキーワードを入力し、**Sort by** で Relevancy を選択



The screenshot shows the 'Search Modules' interface on Drupal.org. At the top, it displays '33,690 Modules match your search'. Below this are several filter options: 'Maintenance status' (set to '- Any -'), 'Development status' (set to '- Any -'), 'Module categories' (set to '- Any -'), 'Core compatibility' (set to '- Any -'), and 'Status' (set to 'Full projects'). The 'Search Modules' input field contains the text '検索キーワード' (Search keyword). The 'Sort by' dropdown menu is set to 'Relevancy'. A green 'Search' button is located at the bottom left. Two red arrows point to the 'Search Modules' input field and the 'Sort by' dropdown menu.

SEO 対策

Pathauto <https://www.drupal.org/project/pathauto>

Redirect <https://www.drupal.org/project/redirect>

Google Analytics https://www.drupal.org/project/google_analytics

XML sitemap <https://www.drupal.org/project/xmlsitemap>

Metatag <https://www.drupal.org/project/metatag>

エディター関連

IMCE <https://www.drupal.org/project/imce>

IMCE Mkdir https://www.drupal.org/project/imce_mkdir

画像・ファイル管理

Medai <https://www.drupal.org/project/media>

多言語対応

Internationalization <https://www.drupal.org/project/i18n>

メール関連

SMTP <https://www.drupal.org/project/smtip>

日付・カレンダー

Date API <https://www.drupal.org/project/date>

Calendar <https://www.drupal.org/project/calendar>

ユーザー管理

Organic Groups <https://www.drupal.org/project/og>

アドミン環境

Administration menu https://www.drupal.org/project/admin_menu

Module Filter https://www.drupal.org/project/module_filter

Node clone https://www.drupal.org/project/node_clone

アクセス制御

Content Access https://www.drupal.org/project/content_access

デザインテーマの管理

Content Theme https://www.drupal.org/project/content_theme

Page Theme https://www.drupal.org/project/page_theme

ThemeKey <https://www.drupal.org/project/themekey>

ワークフロー（申請、承認、発行）

Workbench <https://www.drupal.org/project/workbench>

Rules <https://www.drupal.org/project/rules>

ページレイアウト

Panels	https://www.drupal.org/project/Panels
Display Suite	https://www.drupal.org/project/ds
Nodeblock	https://www.drupal.org/project/nodeblock

データベースの入出力、バックアップ

Features	https://www.drupal.org/project/features
Feeds	https://www.drupal.org/project/feeds
Backup and Migrate	https://www.drupal.org/project/backup_migrate

ショッピングサイト

Drupal Commerce	https://www.drupal.org/project/commerce
Ubercart	https://www.drupal.org/project/ubercart

予約管理

Rooms - Drupal Booking for Hotels, B&Bs and Vacation Rentals

<https://www.drupal.org/project/rooms>

その他

Views	https://www.drupal.org/project/views
Chaos tool suite (ctools)	https://www.drupal.org/project/ctools
Devel	https://www.drupal.org/project/devel

第 11 章 良く使うデザインテンプレート

検索 https://www.drupal.org/project/project_theme

インストールしてすぐに使えそうなデザインテンプレート

Corporate Clean <https://www.drupal.org/project/corporateclean>

Business <https://www.drupal.org/project/business>

Corolla <https://www.drupal.org/project/corolla>

Nexus Theme <https://www.drupal.org/project/nexus>

Business Responsive Theme https://www.drupal.org/project/business_responsive_theme

Bootstrap Business https://www.drupal.org/project/bootstrap_business

Responsive Green https://www.drupal.org/project/responsive_green

Gratis <https://www.drupal.org/project/gratis>

MultiPurpose Zymphonies Theme

https://www.drupal.org/project/multipurpose_zymphonies_theme

第 12 章 便利なディストリビューション

ディストリビューションとは、Drupal のインストールも含んだ、すぐ使えるパッケージです。

検索 https://www.drupal.org/project/project_distribution

さまざま業務や職場で使えるパッケージ

ショッピングサイト

Commerce Kickstart https://www.drupal.org/project/commerce_kickstart

チームなどのグループウェア

Open Atrium <https://www.drupal.org/project/openatrium>

教会向け

OpenChurch <https://www.drupal.org/project/openchurch>

イベント開催サイト

Conference Organizing Distribution <https://www.drupal.org/project/cod>

飲食店向け

Open Restaurant <https://www.drupal.org/project/restaurant>

社内業務、ERP システム

ERPAL for Service Providers <https://www.drupal.org/project/erpal>

第 13 章 英語のドキュメント

概要 <https://www.drupal.org/documentation>

User and Builder Guides

Understanding Drupal

Learn about Drupal concepts, technology stack, terminology, and resources.

Installation Guide

Install Drupal and its contributed modules and themes. Run multiple sites from one installation. Migrate from other content management systems and address platform issues.

Administration & Security Guide

Manage users and content, perform backups and upgrades, secure your site, tweak performance, etc. *Audience: System and site administrators*

Structure Guide

Work with content types, blocks, menus, views, panels, taxonomy, user profiles, and navigation. *Audience: information architects*

Site Building Guide

Add functionality and features such as e-commerce, forums, media, search, geographic data, dates, workflow, messaging, forms, social networking, etc. *Audience: site builders, developers and business architects*

Multilingual Guide

How to build sites in other languages and multi-language sites. *Audience: site builders, site administrators*

Theming Guide

Customize the interface using templates, CSS, etc. Override the output from core or contributed modules. *Audience: designers, usability and accessibility professionals, interface experts*

Mobile Guide

How to build sites to support mobile devices. *Audience: site builders, site administrators, designers*

Developer Guides

Develop for Drupal

Work with the API, JavaScript, and databases. Learn the Drupal coding standards.

API Reference

Search the complete Drupal API including forms, menus, node access, theme system, etc.

Git documentation

Use git for version control to manage projects and code, and to collaborate with other Drupal developers.

User Interface Standards

Use style and pattern guides for user interface text, and improve usability.

Examples for Developers

Examine a standard repository of sample modules that can be used to learn module development, or are referenced on handbook pages.

Other Information

Glossary

Find definitions of Drupal terminology and acronyms.

Code snippets

Reuse chunks of Drupal code that people have shared with the community.

Troubleshooting

Identify and solve problems with servers, page display, permissions, logins, etc.

FAQs

Learn about documentation, licensing, the Drupal Association, community, etc.

Tutorials and recipes

Find miscellaneous information contributed by other Drupal users.

第 15 章 Drupal を学ぶ環境 (パソコン編)

自分のパソコンにインストールして学ぶ場合

お薦めは、Acquia Dev Desktop 2 です。Drupal 8 のデフォルトコア以外の良く使われている Drupal Commerce Kickstart なども選択でき、PHP 言語のバージョンを選択、既存の Drupal のデータベースをインポートして取り込むこともできます。

Acquia Dev Desktop 2 のインストール

ダウンロード： <https://www.acquia.com/downloads>

Acquia Dev Desktop

Acquia Dev Desktop allows you to install, test, and build Drupal sites locally on your Mac or Windows PC and optionally host them on either [Acquia Cloud](#) or the [Acquia Cloud Free](#) developer sandbox. Easily push or pull to synchronize your local site's code, database, or files with any Acquia Cloud environment.

[More details and documentation →](#)

MAC DOWNLOAD

WIN DOWNLOAD

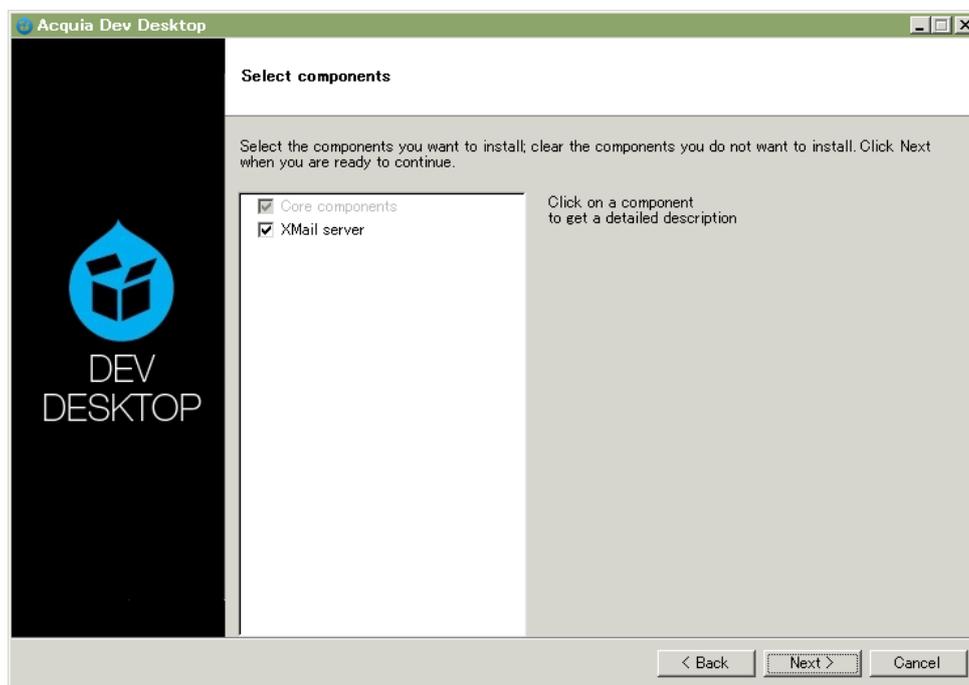
Aug 11, 2016 release

英文マニュアルは <https://docs.acquia.com/Dev Desktop 2>

Windows でインストールした場合（Drupal 7 の例ですが、Drupal 8 も同様です）



Next をクリック



XMail server は Windows の PC でメールを送信できるようにする SMTP プログラムです。実行できる状態で **Next** へ

★ 参考情報

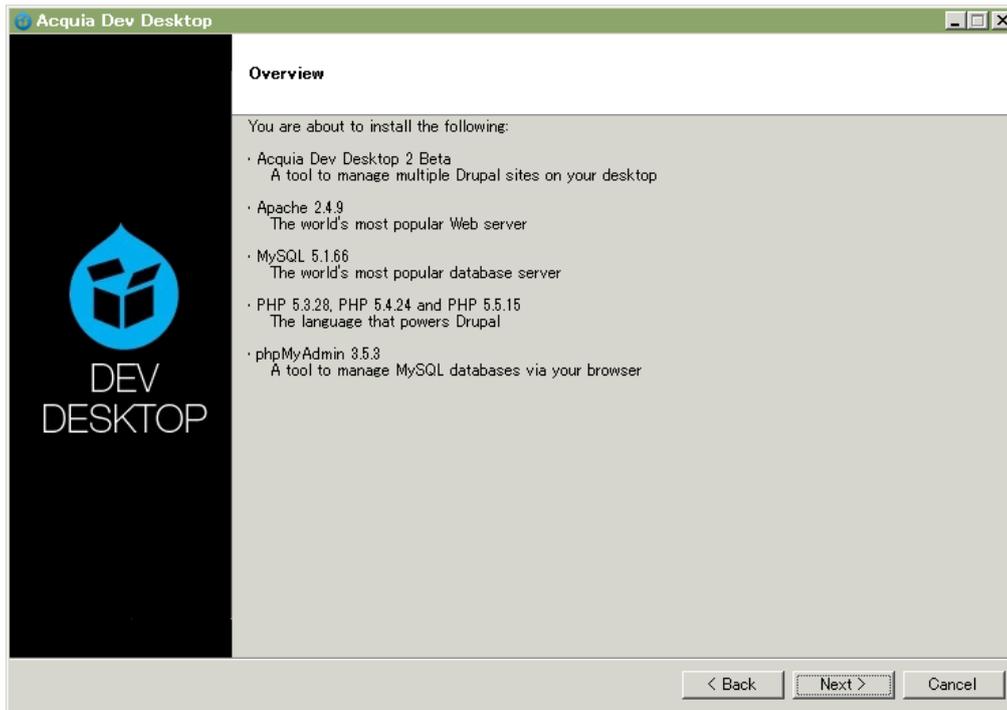
XMail server は Windows でメールを送信できるオープンソースのメールサーバー(SMTP)プログラムです。

XMail について

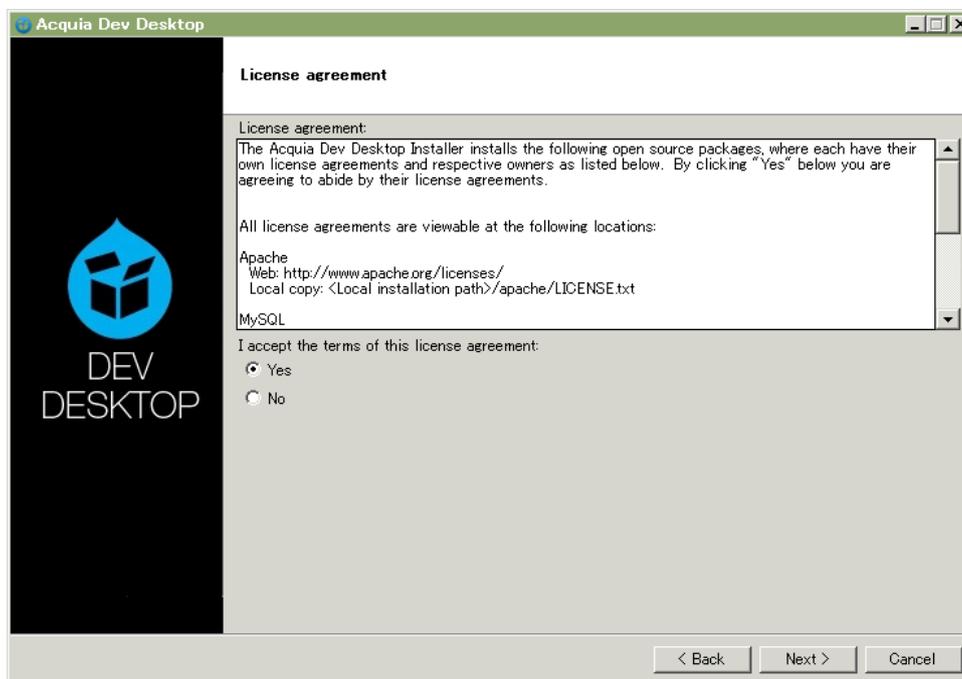
ウィキペディア <http://ja.wikipedia.org/wiki/XMail>

開発元 <http://www.xmailserver.org/>

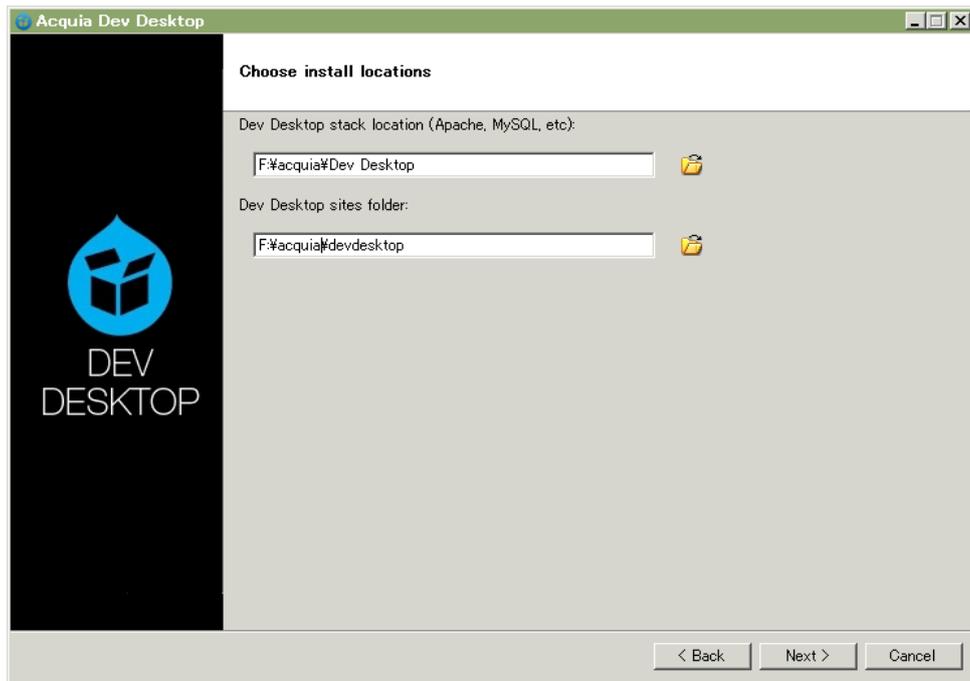
日本語情報 <http://www.xmailserver.jp/>



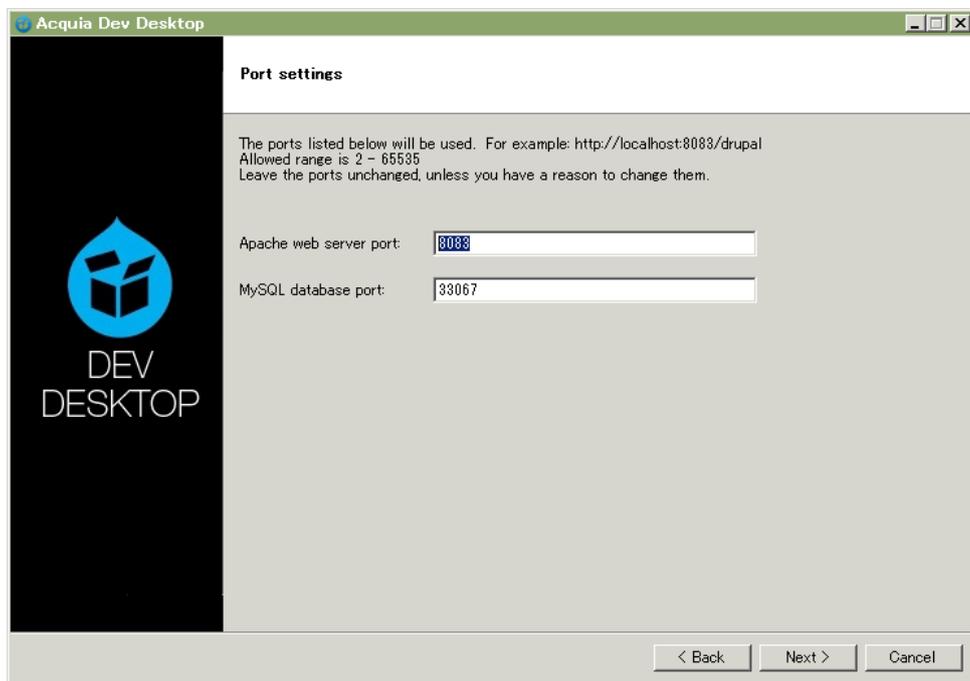
内容を確認して **Next** をクリック



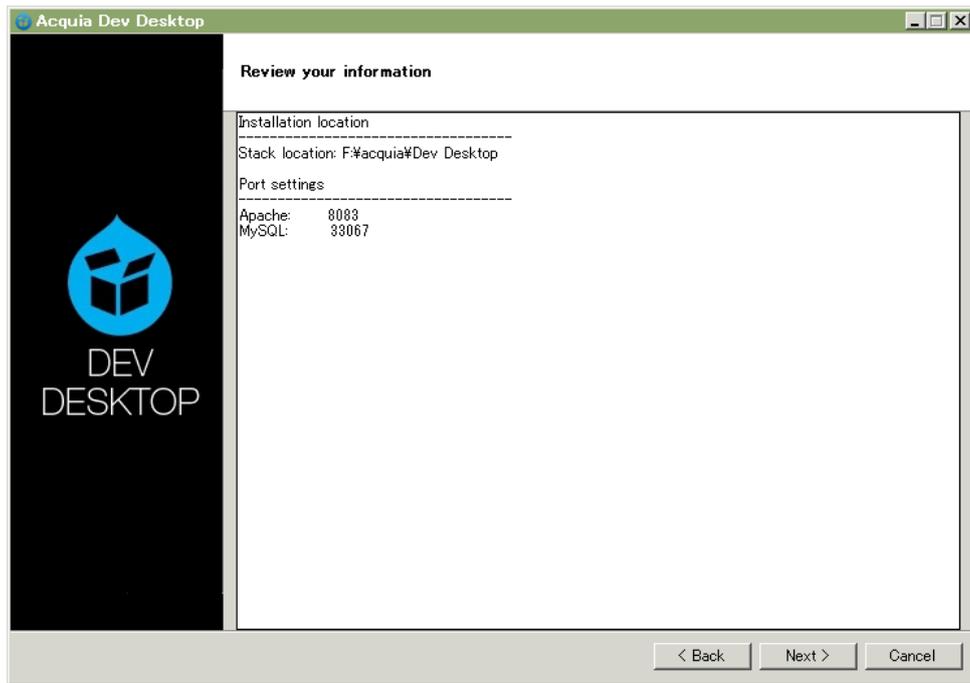
ライセンス OKとして **Next** をクリック



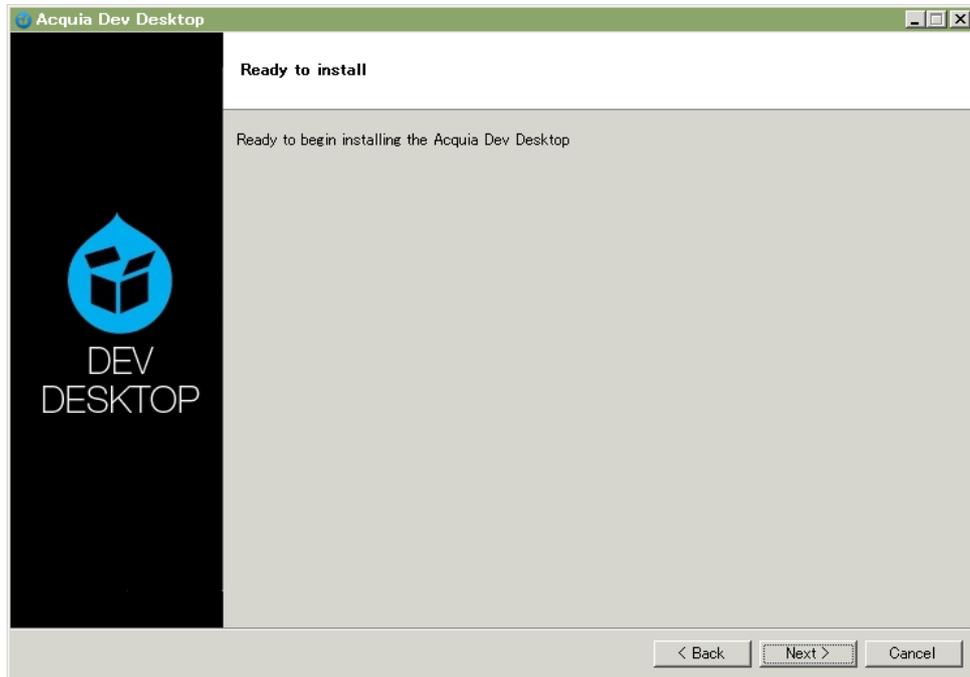
任意のインストール先を指定して、**Next** をクリック



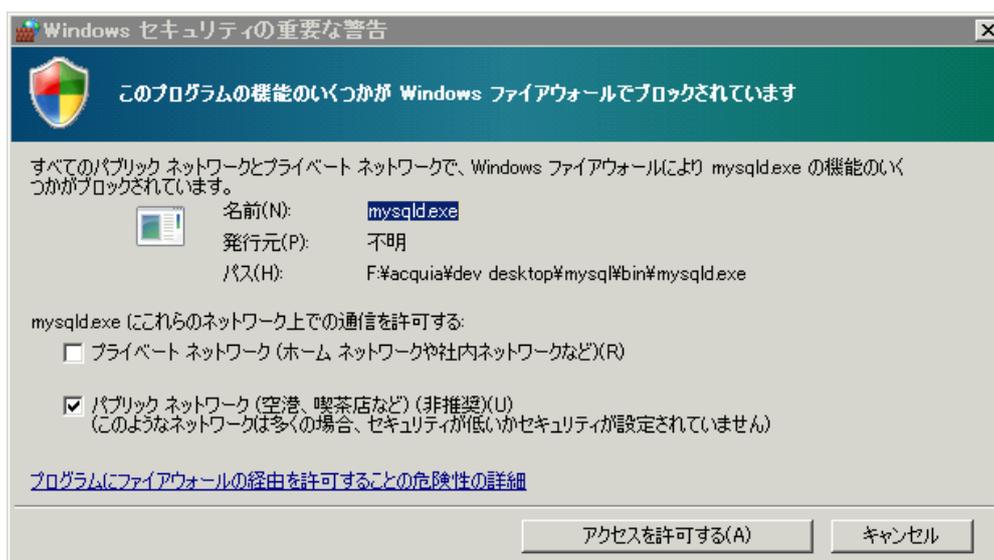
ポートは問題なければデフォルトで **Next** をクリック



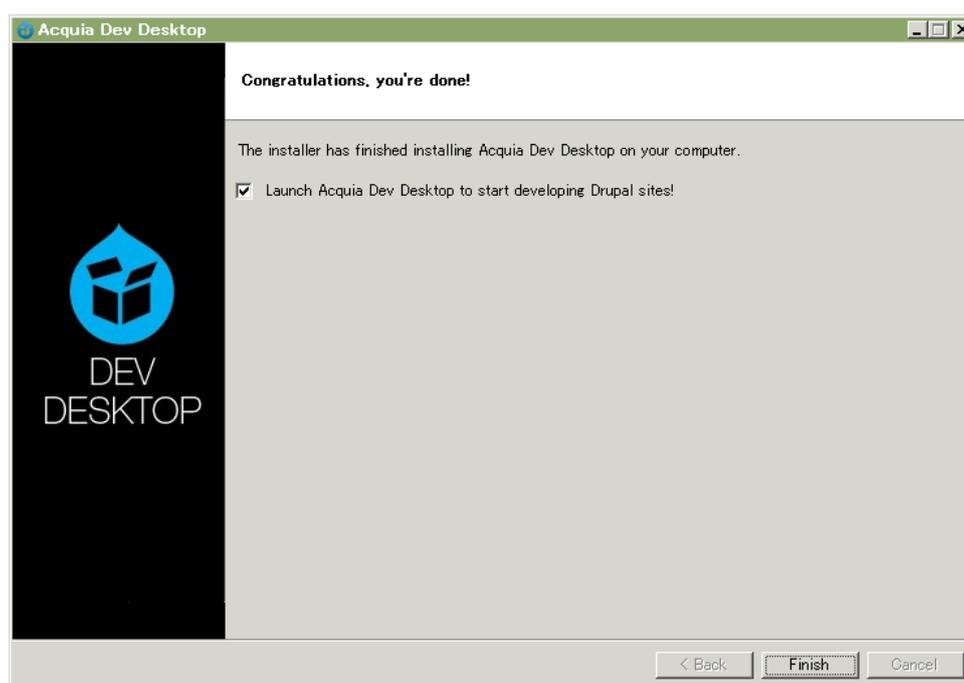
内容を確認後、**Next**



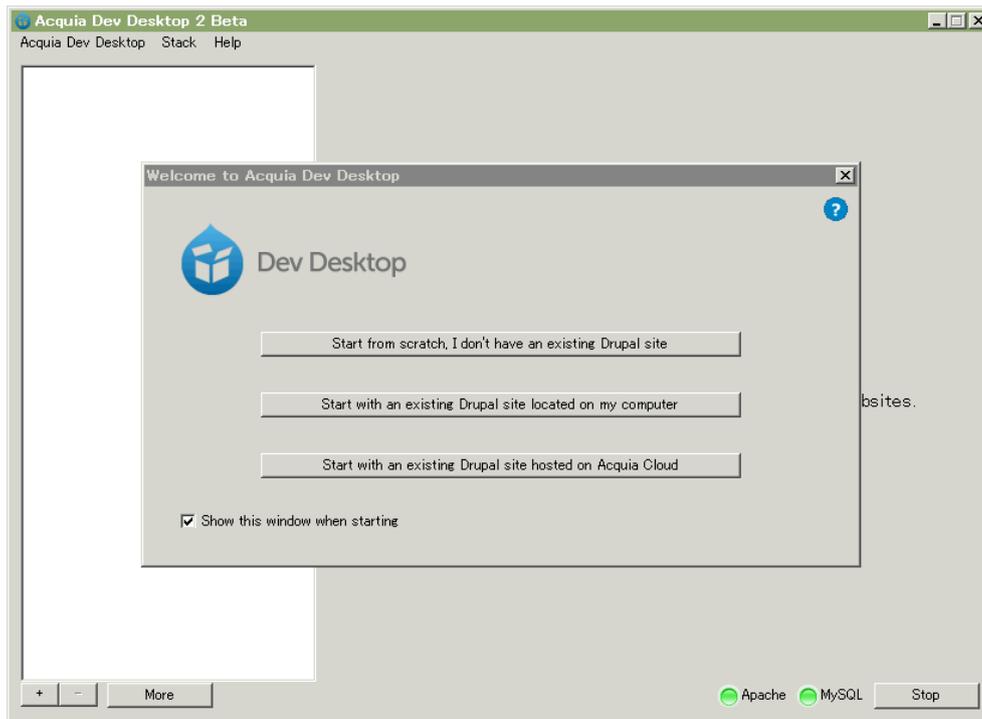
Next でインストール開始



インストールで上記の警告が表示された場合、「**アクセスを許可する**」をクリック



Dev Desktop 2 のインストール完了です。**Finish** をクリック



Drupal をインストールします。一番上の **Start from scratch,** を選択します。

★ 参考情報

「選択項目」として3種類

「Start from scratch. I don't have an existing Drupal site」

Drupal コア、ディストリビューションなどを新規インストールします。

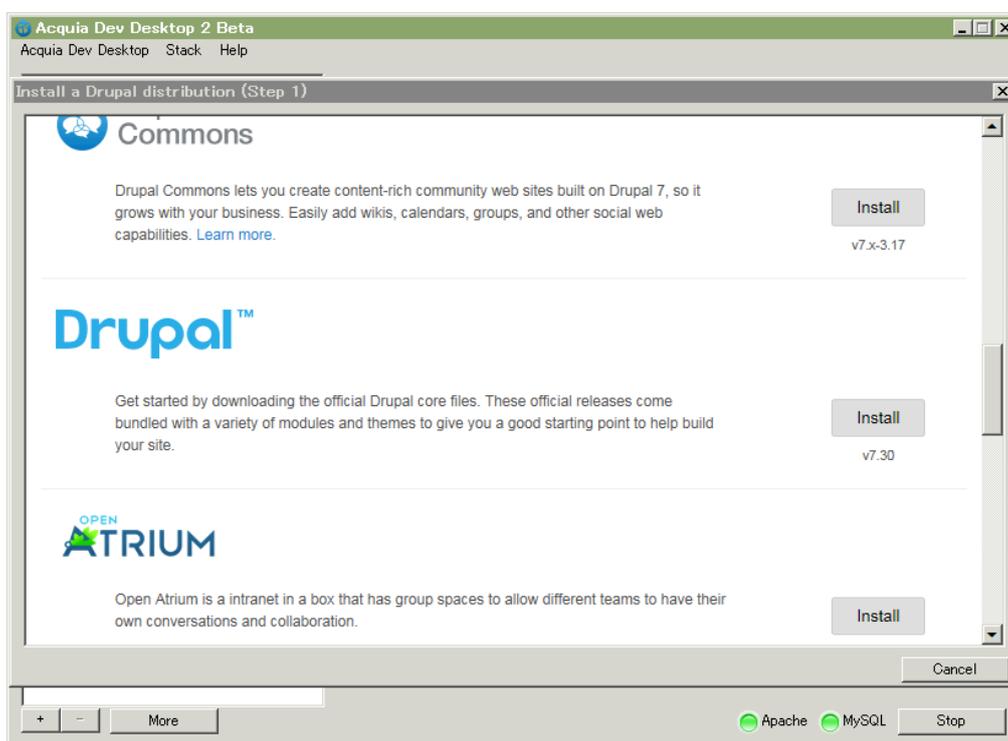
「Start with an existing Drupal site located on my computer」

PC にインストールされている Drupal のデータベースダンプファイルや Drupal ディレクトリをインポートしてインストールします。

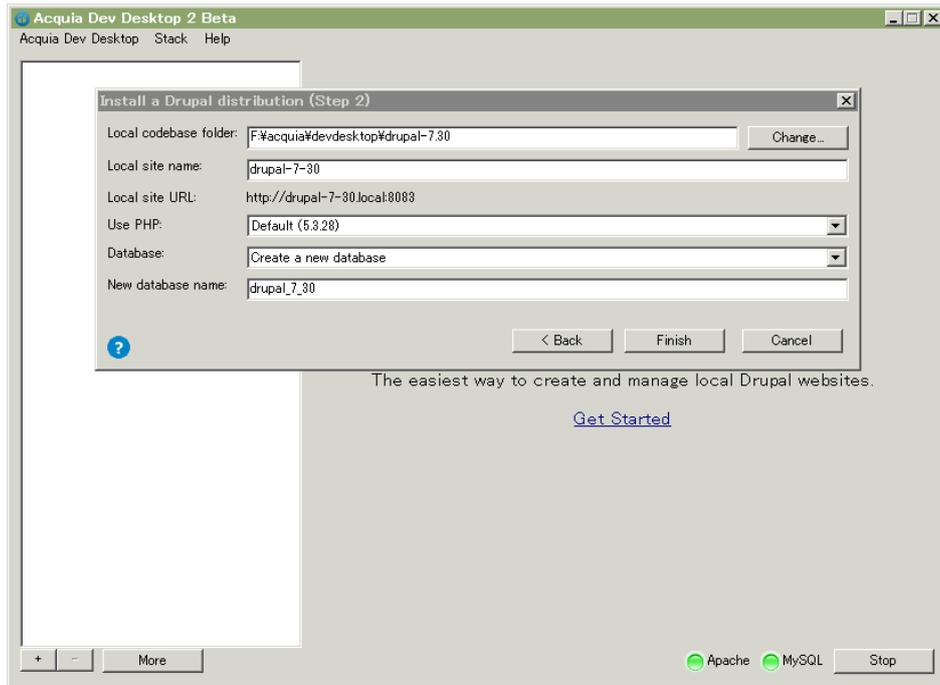
「Start with an existing Drupal site hosted on Acquia Cloud」

Acquia Cloud のクラウドに構築した Drupal をインポートし、インストールします。

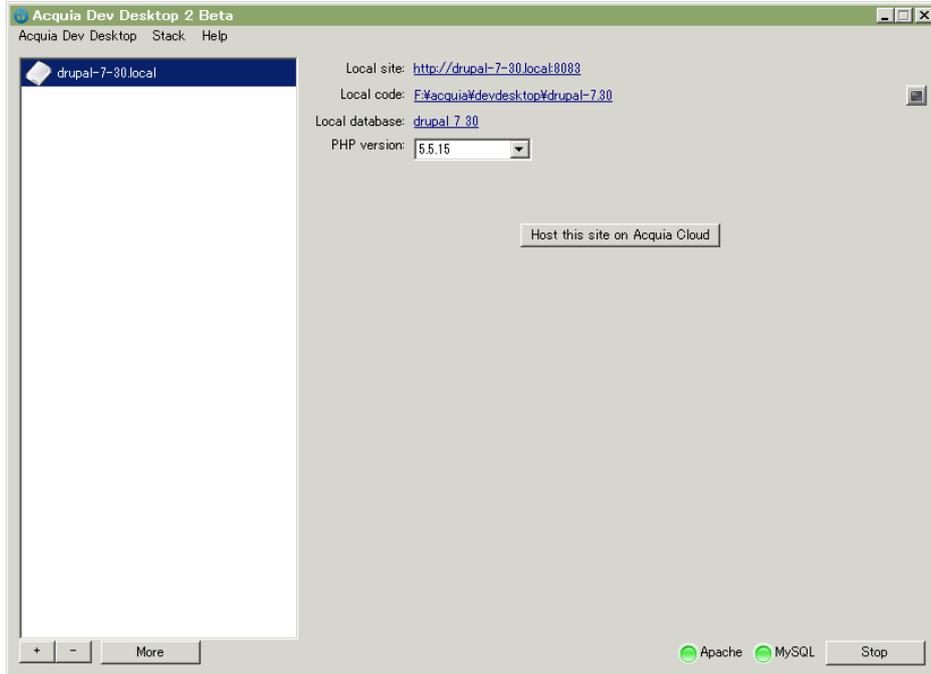
一番上の「Start from scratch, ……」を選択します。



標準の Drupal 8 をインストールします。 **Install** をクリック



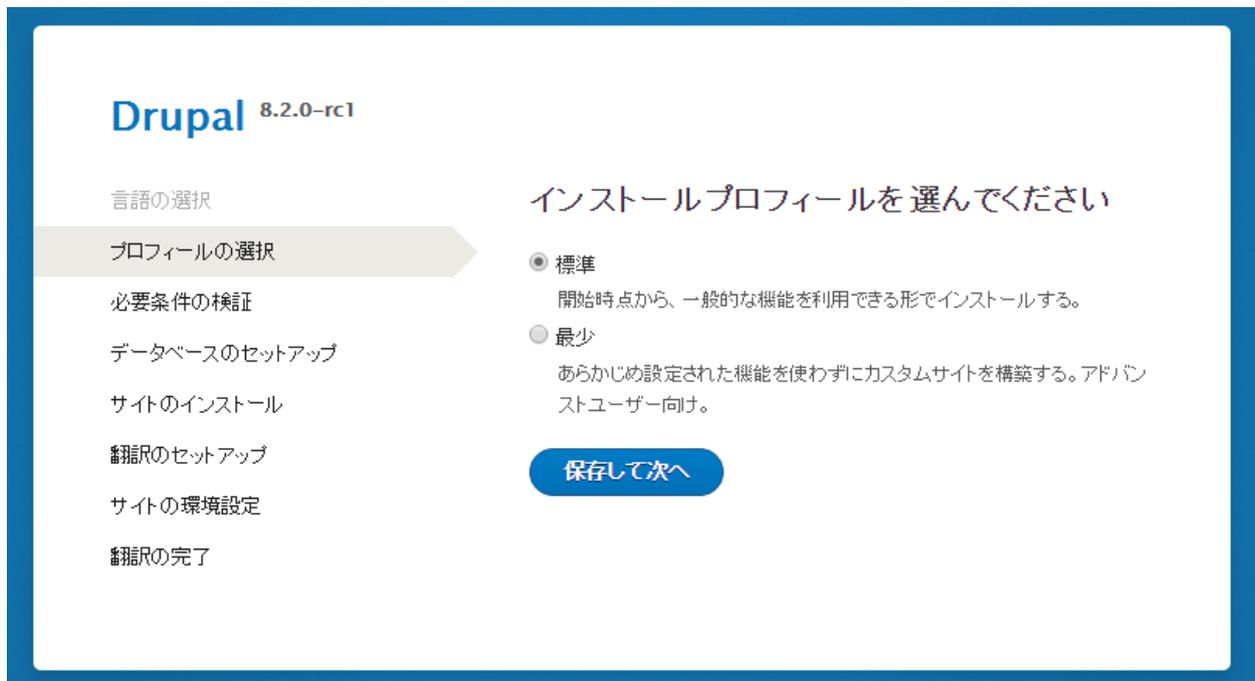
PHP は最新版を選択して、**Finish** をクリック。Drupal のインストールが始まります。



Local site のリンクをクリック



日本語を選択して **Save and continue** をクリック



標準を選択して **保存して次へ** をクリック

Save データベース名 データベースのユーザー名 データベースのパスワード を入力

Drupal 8.2.0-rc1

言語の選択
プロフィールの選択
必要条件の検証
データベースのセットアップ
サイトのインストール
翻訳のセットアップ
サイトの環境設定
翻訳の完了

データベースの設定

データベースのタイプ *

MySQL, MariaDB, Percona Server, や同等の

データベース名 *

データベースのユーザー名 *

データベースのパスワード

.....

▶ 高度なオプション

保存して次へ

インストールが始まります。

サイト名、サイトからのメール送信で使用するメールアドレスを記入

サイト名 *

サイトのメールアドレス *

サイト管理者のログインユーザー名、パスワード、メールアドレスを記入

サイトメンテナンスのアカウント

ユーザー名 *

いくつかの特殊文字は利用可能です。その中には空白、ピリオド(.)、ハイフン(-)、引用符(')、アンダースコア(_)、@ 記号が含まれます。

パスワード *

パスワードの強度:

パスワードの確認 *

パスワードの一致:

メールアドレス *

デフォルトの国は、日本を選択します。

地域の設定

デフォルトの国

サイトのデフォルトの国情報を選択してください。

デフォルトのタイムゾーン

サイトのタイムゾーンを指定してください。サイト内で表示されるデフォルトの日付は、このタイムゾーンが使用されます。

保存して次へ [クリック](#)

インストールが再開し、以下の画面が表示されれば完了です。

✓ 1 個の翻訳ファイルをインポートしました。7937 個の翻訳を追加し、0 個の翻訳を更新、0 個の翻訳を削除しました。
おめでとうございます。Drupal のインストールが完了しました。

検索

ツール
[コンテンツを追加](#)

Drupal へようこそ

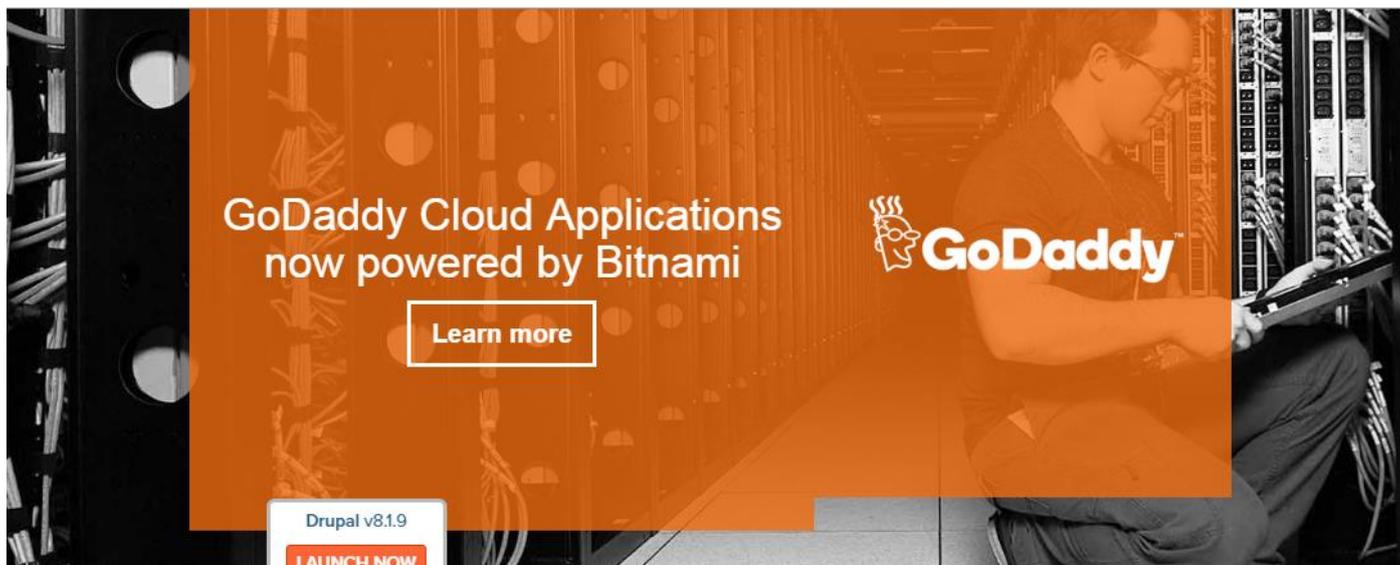
フロントページ向けコンテンツはまだ作成されていません。
[コンテンツを追加](#)



Bitnami のインストール

概要

Bitnami はオープンソースのソフトウェアをクラウドで簡単に運用できるサービスを提供しています。CMS の中に Drupal もあります。 <https://bitnami.com/>



Over 1 million apps deployed per month

対応 OS

- A Linux operating system.
- A Windows operating system such as Windows 2000, XP, Server 2003, Server 2008, Server 2012, Vista, Windows 7, Windows 10
- Mac OS X operating system.

詳細は以下の URL でご確認下さい。

http://wiki.bitnami.com/Native_Installers_Quick_Start_Guide

インストール

Bitnami サイトから Drupal7 をダウンロードしインストールします。Windows 版の場合。

<https://bitnami.com/stack/drupal>



Drupal [Follow](#)
drupal.org | Open Source

The Bitnami Drupal Stack provides a one-click install solution for Drupal. Download installers and virtual machines, or run your own Drupal server in the cloud.

Drupal is one of the most versatile open source content management systems on the market. Over a thousand developers contributed to the code in the most recent version. Drupal is built for high performance and is scalable to many servers, has easy integration via REST, JSON, SOAP and other formats, and features a whopping 15,000 plugins to extend and customize the application for just about any type of website. You won't feel alone if you use Drupal; the hundreds of thousands of Drupal users around the world have built a very robust community with local meetups and global user conferences.

NEED DRUPAL TRAINING?

We have partnered with php[architect] to offer Developing on Drupal for developers who need to leverage Drupal's extensibility to create powerful content applications. Each student receives 3 free months of Bitnami Cloud hosting!

[Learn more >](#)



DEMO IN BROWSER

LAUNCH IN THE CLOUD

CONTAINER
DEPLOYMENT (BETA)

- Drupal Docker Container
- Customize Stack

LOCAL INSTALL

DOWNLOAD DRUPAL INSTALLER

- [bitnami-drupal-8.1.9-0-wind...](#)
Version 8.1.9
- [bitnami-drupal-7.50-2-wind...](#)
Version 7.50



第 16 章 Drupal を学ぶ環境（クラウド編）

クラウドで Drupal を選択してインストールする場合

Microsoft Azure の Free プランで Drupal を使う場合のインストール手順

マイクロソフトの Azure <https://azure.microsoft.com/ja-jp/>

Microsoft Azure

セールス 0120-952-593 | アカウント | ポータル | Search

Azure を選ぶ理由 | 製品 | ドキュメント | 価格 | パートナー | ブログ | リソース | サポート

無料評価版 >

最新のビジネスに対応したクラウド

より迅速に
コスト削減
オンプレミスのアプリとデータの統合

Azure を選ぶ理由 >

フォーチュン 500 に選ばれた企業の 57% で、既に Azure が使われています。
使用事例を見る ▶

サインアップして、初めてのクラウド ソリューションを 5 分以内でデプロイする

無料で試す >

はじめに

無料のウェビナー

Azure Friday

Azure の基本的な使用方法を簡単に紹介します。

Azure の最新機能についてのライブのオンライン

Scott Hanselman による毎週 10 分間のビデオ

MS Azure のインストール

無料コースを確認します。 <https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/details/app-service/>

料金の詳細

リージョン: 通貨:

Free と Shared プレビュー

Free サービスプランと Shared (プレビュー) サービスプランは、プラットフォームの試用および開発やテストシナリオに最適です。Free プランを使用することによってプラットフォームをすばやく評価でき、アプリを有料レベルにいつでも変換できます。これによる遅延やダウンタイムは発生しません。Shared (プレビュー) プランでは、運用前に SSL やドメイン名などの機能を持つ環境で開発およびテストできます。また、このプランはアクセス数の少ないサイトに適しています。

インスタンス	コア	RAM	STORAGE	料金
F1 Free	Shared (60 CPU 分/日)	1 GB	1 GB	¥0
D1 Shared (プレビュー)	Shared (240 CPU 分/日)	1 GB	1 GB	サイトあたり ~ ¥1.53/時間 (~ ¥1,160.76/月) プレビュー割引

Basic サービスプラン

トラフィック要件が低く、高度な自動スケール機能やトラフィック管理機能が必要としないアプリ用に設計されています。料金は、実行する VM インスタンスのサイズと数に基づいています。組み込みのネットワーク負荷分散サポートは、トラフィックを VM インスタンスに自動的に分散します。

無料で試す をクリックすると1ヶ月の無料お試しができます。

Microsoft Azure

セールス 0120-952-593 | アカウント | ポータル | 検索

機能 料金 ドキュメント ダウンロード Marketplace ブログ コミュニティ サポート

無料で評価版 >

アプリ サービス 料金

任意のプラットフォーム用の Web およびモバイル アプリを作成する

[無料で試す >](#)

[アプリ サービス 概要 >](#) [ドキュメント >](#)

Azure の料金体系について

- ✓ 前払い手数料なし
- ✓ 契約解除手数料なし
- ✓ 使用した分だけお支払い
- ✓ 分単位の課金

[Azure 料金についてさらに詳しく >](#)

App Service によって、あらゆるプラットフォームとデバイスの Web アプリとモバイル アプリを作成するために必要なものすべてが揃います。Free プランと Shared プランの場合には共有環境でアプリをホストでき、Basic、Standard、Premium プランにはプラン専用の Virtual Machines が提供されます。プラン内にデプロイしたインスタンスごとに、複数のアプリとドメインをホストできます。

	FREE アプリの開発とテスト	SHARED 開発とテスト (上限引き上げ)	BASIC Basic アプリを使用	STANDARD Web、モバイル、ロジック アプリで使用	PREMIUM 最大のスケールとエンタープライズ統合
Web、モバイル、API アプリ	10	100	無制限	無制限	無制限
ロジック アプリ	10	10	10	20 / コア	20 / コア

1 か月間の無料評価版

無料評価版にサインアップしていただいた方に、すべての Azure サービスに使用できる ¥20,500 相当の使用権をプレゼント

[今すぐ試す >](#)

[または今すぐ購入する ▶](#)

[よく寄せられる質問 ▶](#)

ご質問はこちらまで:0120-952-593

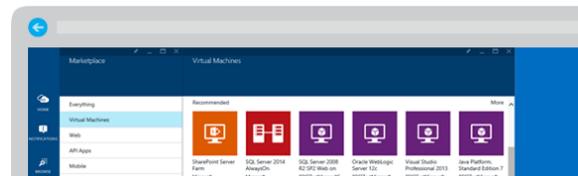
- ✓ Virtual Machines
- ✓ SQL Database
- ✓ Websites
- ✓ Hadoop

- ✓ モバイル プッシュ
- ✓ メディア ストリーミング
- ✓ Active Directory
- ✓ その他...

Virtual Machines

世界中の 13 のリージョンで Microsoft が管理するデータセンターにより、Windows と Linux VM、アプリケーション、インフラストラクチャがすぐに提供されます。

[今すぐサインアップして仮想マシンを作成 ▶](#)



無料お試しをしなくても、Free サービスプランを使うことで、簡単な Drupal の勉強サイトを運用することができます。今すぐ購入で、正規の購入手続き画面から操作します。

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/purchase-options/>

Microsoft Azure セールス 0120-952-593 アカウント ポータル 検索

[機能](#) [料金](#) [ドキュメント](#) [ダウンロード](#) [Marketplace](#) [ブログ](#) [コミュニティ](#) [サポート](#) [無料評価版 >](#)

Azure の購入方法

Azure の無料評価版をスキップして、すぐに使用を開始しても問題はありません。個人の開発者も大規模な組織も、いくつかの方法で Azure サービスを購入することができます。

従量課金制

競争力のある価格設定。最小支払額や付帯条件なし。
いつでもキャンセル可能。当社で最も人気があり、柔軟な支払いプランです。

[今すぐ購入 >](#)

[詳細情報](#)



Microsoft リセラーからの購入

Open Volume License プログラムで、現在 Microsoft ソフトウェアの購入先として選択できる同じリセラーを継続して使用できます。オープン ライセンス キーの Azure を持っていますか?新しいサブスクリプションを有効にするか、またはクレジットを追加するには、[ここをクリック](#)します。



「今すぐ購入」をクリックします

Microsoft アカウントがある人は、そのアカウントでサインインします。Microsoft アカウントを持っていない場合は、右下の「新規登録」から登録します。



サインイン

Microsoft アカウント [詳細](#)

サインインしたままにする

[サインイン](#)

[アカウントにアクセスできない場合
一時使用コードを使ってサインイン](#)

Microsoft アカウントをお持ちでない場合 [新規登録](#)

新規アカウントを登録します。



アカウントの作成

お好きなメールアドレスを新しい Microsoft アカウントのユーザー名として利用できます。Outlook.com、Yahoo!、Gmail などのアドレスも使うことができます。Windows PC、Windows タブレット、Windows Phone、Xbox Live、Outlook.com、OneDrive のいずれかにサインインしたことがある場合は、そのアカウントを使ってサインインしてください。

姓 (例: 田中)

名 (例: 太郎)

ユーザー名

[または、新しいメールアドレスを取得する](#)

パスワード

8文字以上、大文字と小文字の区別が効きます

パスワードの再入力

国/地域

生年月日

性別

[情報の保護に協力ください](#)

新規マイクロソフトのアカウント作成後、もしくは、既にマイクロソフトアカウントを持っている場合は、アカウント名とパスワードでログインします。

ログイン後、Azure のサインアップ（登録手続き）になります。

サインアップ

従量課金
詳細情報 ▾

Microsoft Azure kazu.hodota@gmail.com ▾

- 1 自分の情報
名 姓 国/リージョン
Kazu Hedota 日本
名の読み方 姓の読み方 連絡先の電子メール
会社/学校 勤務先の電話
-省略可能- 90 XXXX XXXX
- 2 携帯電話確認
 テキストメッセージを受信 電話で確認コードを受け取る
日本 (+81)
90 XXXX XXXX テキストメッセージを受信
- 3 支払情報
- 4 契約
 サブスクリプション契約、プランの詳細、プライバシーに関する声明に同意します。
 Microsoftは、特別な Microsoft Azure プランに関する情報のご連絡に、お客様の電子メールおよび電話番号を使用する場合があります。

サインアップ →

このときに、「勤務先の電話番号」は半角で 81 44xxxxxxx (たとえば、日本 81、川崎市の市外局番の最初の0なし 44 残りの番号)になります。

携帯電話確認も +81 はそのまま、 99xxxxxxx (最初の0 はなし、その後に携帯電話番号)を入力し、「テキストメッセージを受信」をクリックします。

かず	ほどた	kazu.hodota
会社/学校	勤務先の電話	
Gennai3株式会社	81 4422 0	

2 携帯電話確認 ?

テキストメッセージを受信
 電話で確認コードを受け取る

日本 (+81)

90 9302

54

テキストメッセージを受信
 コードの確認

次に支払い条件を設定します。もし、作業途中で再度ログイン画面が表示される場合は、ログインしなおして下さい。その後、この画面に戻ります。

購入

従量課金

詳細情報 ▼

Microsoft Azure kazu.hodota@gmail.com ▼

1 支払情報 ?

銀行カードの明細書が一時的に保留になっている可能性があります。カードは請求されません。

支払い方法
 新しいクレジットカード ▼

クレジットカード番号 カードの種類 有効期限
 - ハイフンやスペースを含めずに入力します - Visa ▼ 月 ▼ 年 ▼

CWV クレジットカードの名義

郵便番号 都道府県 住所 2
 - 例: 182-0021 - ▼ - オプション -

市区町村 電話番号
 - 市外局番 - - 番号 -

住所 1

2 契約

サブスクリプション契約、プランの詳細、プライバシーに関する声明に同意します。

Microsoftは、特別な Microsoft Azure プランに関する情報のご連絡に、お客様の電子メールおよび電話番号を使用する場合があります。

購入 ➔

クレジットカードや住所などを記入して、**購入**をクリックして手続き完了となります。

しばらく、以下のような画面になります。課金登録作業の状態により、4分以上、かなり時間がかかる場合があります。この間に、下記のチュートリアルビデオを見ることも可能です。

Microsoft Azure

kazu.hodota@gmail.com サインアウト

Microsoft Azure へようこそ。

サブスクリプション - 従量課金

準備が完了するまでもうしばらくお待ちください。
この操作は通常 4 分以内に完了します。

待機中に管理機能を概観してください。

チュートリアル
開始する...
[Virtual Machines](#)
[Azure Storage](#)
[SQL Database](#)
[Websites](#)

以下のような準備完了が表示されれば課金手続きの完了です。

Microsoft Azure

Microsoft Azure へようこそ。

サブスクリプション - 従量課金

サブスクリプションの準備が整いました。

サービスの管理を開始する >

待機中に管理機能を概観してください。

実際の Azure サービスを開始して、Free プランの Drupal をインストールしてみましょう。

「サービスの管理を開始する」をクリックします。



Microsoft Azure

ホーム 料金 ドキュメント ダウンロード コミュニティ サポート アカウント

サブスクリプション marketplace プロファイル プレビュー機能

ポータル →

詳細および使用量を表示するにはサブスクリプションをクリックします。

用量課金 有効

+ サブスクリプションの追加 🔍 サポート オプションを確認する

「**用量課金 有効**」をクリックして契約内容を確認できます。



Microsoft Azure

ホーム 料金 ドキュメント ダウンロード コミュニティ サポート アカウント

サブスクリプション marketplace プロファイル プレビュー機能

ポータル →

用量課金の概要

概要 請求履歴

このサブスクリプションのサービスを最近使用されていません。

次回請求額 (現債もり):
¥0

購入日
2015/05/22

実行請求期間
2015/05/22 - 2015/06/21

- ⌚ 支払方法の変更
- 📄 使用量の詳細のダウンロード
- 🗨️ Microsoft サポートに問い合わせる
- 📄 サブスクリプション詳細の編集
- 📄 サブスクリプションの住所の変更
- 👤 パートナー情報
- 🗑️ サブスクリプションのキャンセル

アカウント管理者
@gmail.com

サブスクリプション ID
604d97e8-795b-4950-83e0-bc-11c06

※ * in

上記の画面の状態ですら「ポータル」をクリックしてもポータル画面に移行しない場合がありますので、左上部の「ホーム」をクリックして、ホームの画面から右上の「ポータル」をクリックしてポータル画面に行こうします。

初めての場合などは、下記のようなツアーが表示される場合もあります。



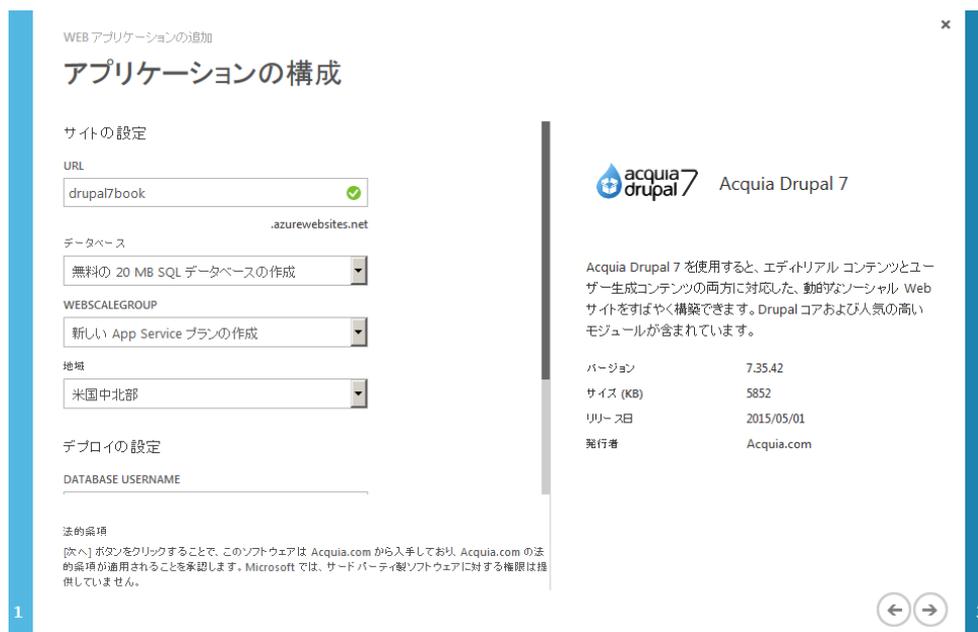
ツアーなどが終了すると、次に、実際のポータル画面になります。



Free プランの Drupal をインストールする場合は、「コンピューティング」の「Web アプリ」、
「ギャラリーから」を選択します。



「Acquia Drupal7」を選択し、右下の**右矢印**をクリックします。URL は任意の名称を設定します。



下のほうに「**デプロイの設定**」があり、**Database Username** と **Database Password** はメモしておきましょう。その他は、そのままでも OK です。

パスワードは次の要件を満たしている必要があります。

- 長さが 8 文字以上である
- ログイン名がまったく含まれていない
- 次の種類の文字が 3 文字以上含まれている
 - 大文字アルファベット (A ~ Z)
 - 小文字アルファベット (a ~ z)
 - 数字 (0 ~ 9)
 - 英数字以外の文字 (例: !, \$, #, %)

地域

米国中北部

デプロイの設定

DATABASE USERNAME

a

DATABASE PASSWORD

パスワードの入力

パスワードの確認

.....

.....

よければ**右下の矢印**をクリックします。

WEB アプリケーションの追加

データベースの設定の指定

名前

サーバー

サーバー ログイン名

サーバー ログイン パスワード パスワードの確認

地域

データベースの詳細設定を構成します

1 2

← ✓

データベース名をメモします。サーバーログイン名は、先ほどのユーザー名を記入し、パスワードも記入します。よろしければ、右下の**チェック**をクリックします。

データベースの作成に移行します。クラウド環境の状況により、若干時間がかかることがあります。

Microsoft Azure

すべてのアイテム

WEB アプリ 1

仮想マシン 0

モバイル サービス 0

クラウド サービス 0

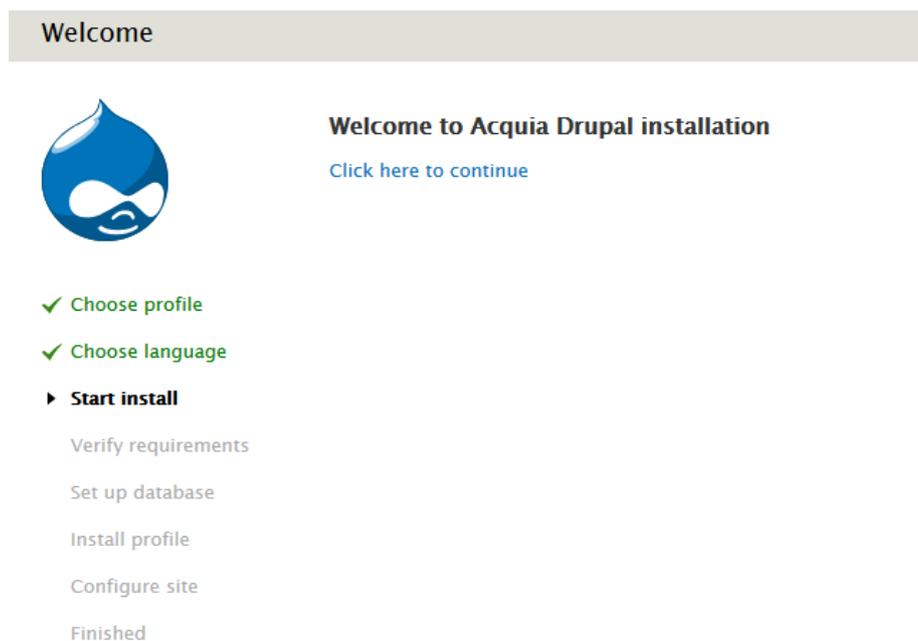
web アプリ

名前	状態	サブスクリプション	場所	価格レベ...	URL
drupal7book	作成中	従量課金		無料	

稼動した場合は以下ようになります。右の **URL** をクリックして Drupal 7 のサイトを確認します。



Drupal 7 のインストール画面が表示されれば OK です。Drupal 7 の標準的なインストール手順で設定します。



サイト管理者やパスワードなどを設定します。

Configure site



- ✓ Choose profile
 - ✓ Choose language
 - ✓ Start install
 - ✓ Verify requirements
 - ✓ Set up database
 - ✓ Install profile
 - ▶ **Configure site**
- Finished

SITE INFORMATION

Site name *

Site e-mail address *

Automated e-mails, such as registration information, will be sent from this address. Use an address ending in your site's domain to help prevent these e-mails from being flagged as spam.

Acquia subscription identifier

If you have an [Acquia Network subscription](#), please enter the subscription identifier. You can also provide it later at Administer > Configuration > Acquia Network settings.

Acquia subscription key

If you have an [Acquia Network subscription](#), please enter the subscription key. You can also provide it later at Administer > Configuration > Acquia Network settings.

SITE MAINTENANCE ACCOUNT

Username *

Spaces are allowed; punctuation is not allowed except for periods, hyphens, and underscores.

E-mail address *

インストールの最後で、メールを送信できないメッセージが表示されます。Azure クラウド環境でのメールを送信する SMTP サーバーなどの環境設定と思われる。Drupal からメールを送信する場合は、Drupal のモジュールで、SMTP モジュールという、Drupal をインストールしたサーバー以外の SMTP サーバーを指定して送信するモジュールを追加インストールします。

SMTP モジュールの情報 <https://www.drupal.org/project/smtp>

Acquia Drupal installation complete



- ✓ Choose profile
- ✓ Choose language
- ✓ Start install



Unable to send e-mail. Contact the site administrator if the problem persists.

Congratulations, you installed Acquia Drupal!

[Visit your new site.](#)

Acquia Drupal 7 は、標準の Drupal 7 のほかに、いくつかのモジュールがインストールされています。さらに、Azure で使用するための、Windows Azure Authentication モジュールもあり、Azure にログインしたら、Drupal にもログインできる便利な機能です。

▼ ACQUIA CONNECTOR				
ENABLED	NAME	VERSION	DESCRIPTION	OPERATIONS
<input checked="" type="checkbox"/>	Acquia agent	7.x-2.15	Allows Drupal to securely communicate with Acquia Insight, and checks for updates to Acquia Drupal. Required by: Acquia Site Profile Information (enabled), Acquia search (disabled)	Help Configure
<input type="checkbox"/>	Acquia search	7.x-2.15	Provides integration between your Drupal site and Acquia's hosted search service. Requires: Acquia agent (enabled), Apache Solr framework (disabled), Apache Solr search (disabled), Search (enabled)	
<input checked="" type="checkbox"/>	Acquia Site Profile Information	7.x-2.15	Sends detailed information about your Drupal site (status, info, debugging, etc...) to Acquia Insight. Requires: Acquia agent (enabled)	Help

▼ AUTHENTICATION				
ENABLED	NAME	VERSION	DESCRIPTION	OPERATIONS
<input type="checkbox"/>	Windows Azure Authentication	7.x-1.1	Enables user login/registration via Windows Azure.	

チェック!

Drupal 7 をインストールした場合、デフォルトでサイト訪問者がユーザー登録できる設定になっています。この設定を、必ず、管理者だけ(Administrators only)に変更します。

REGISTRATION AND CANCELLATION

Who can register accounts?

- Administrators only
- Visitors
- Visitors, but administrator approval is required

Require e-mail verification when a visitor creates an account.

New users will be required to validate their e-mail address prior to password. With this setting disabled, users will be logged in immediately during registration.

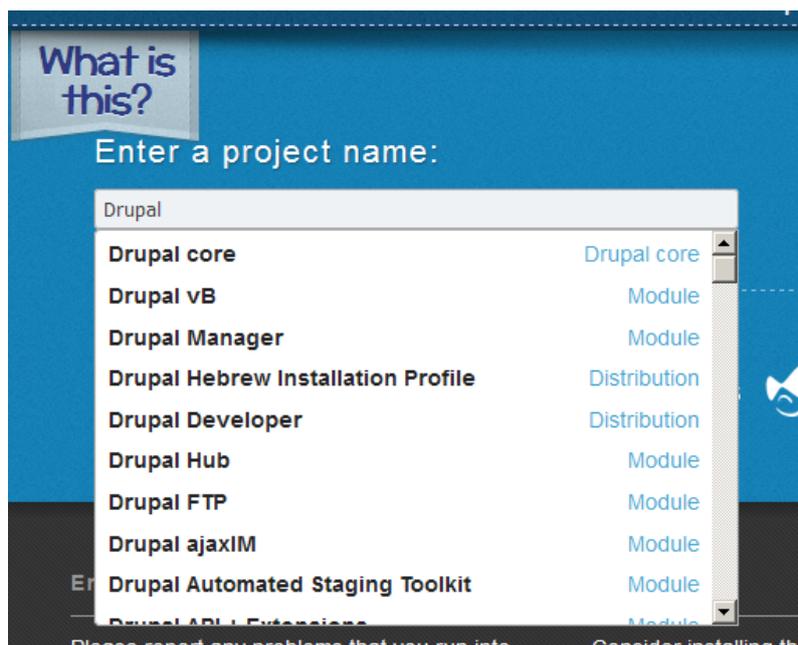
第 17 章 Drupal を無料体験する Simplytest.me サイト

アマゾンのクラウド（AWS）で 24 時間だけ、Drupal およびモジュールを選択し、インストール後、制限なしの機能で使えます。使用するためのユーザー登録もなし、すべて無料です。ただし、24 時間経過後、自動的に AWS 上から削除されます。 <https://simplytest.me/>



使い方

Drupal 8 の標準コアをインストールする場合は、**Drupal** と入力し、**Drupal core** を選択



最新バージョンが表示され、**Launch sandbox** をクリック



What is this?

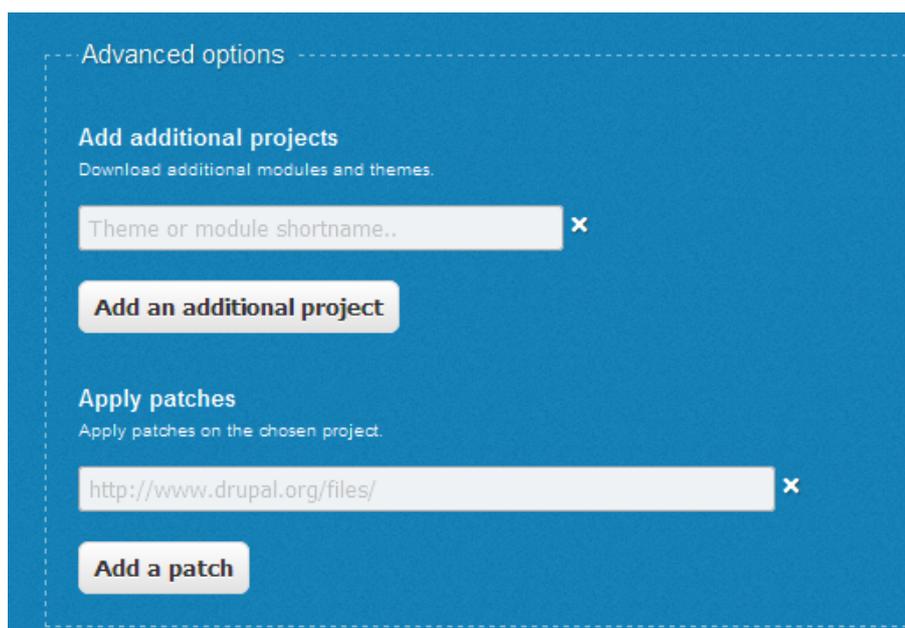
Enter a project name:

drupal 8.2.0-rc1

Launch sandbox

Advanced options

その後、**Launch Sandbox** をクリックし、インストールが実行します。Advanced options で、同時にインストールするモジュールやそのパッチなども適用することが可能です。



Advanced options

Add additional projects
Download additional modules and themes.

Theme or module shortname.. x

Add an additional project

Apply patches
Apply patches on the chosen project.

http://www.drupal.org/files/ x

Add a patch

インストール後は、追加のログイン名、パスワードおよび追加モジュールなども設定可能です。
また、ブラウザを閉じて、再度アクセスした場合も、ログイン名とパスワードは記憶されている仕様になっています。ただし、このサイトの運用管理者が、仕様を変更することがあります。

第 18 章 Drupal を学ぶ環境 (Linux サーバー編)

CMS を Linux サーバーやクラウドにインストールした経験のある場合は、以下の手順で、PHP やデータベースなどの動作環境を確認しインストールします。

クラウドや自社サーバーの Linux にインストールする場合

1) インストールに必要なシステム環境

Drupal 8 の場合、2016 年 9 月現在

OS : Linux, Mac OS X, Windows (ほか)

ディスクスペース : 最小 15MB 以上

Web サーバー : Apache, Nginx, or Microsoft IIS

データベース : MySQL 5.5.3 / MariaDB 5.5.20 / Percona Server 5.5.8 以上 (PDO 必須)、

InnoDB 互換のストレージエンジン

PostgreSQL 9.1.2 以上(PDO 必須)、SQLite 3.3.11 以上、

Microsoft SQL Server (<https://www.drupal.org/project/sqlsrv>) と Oracle

(<https://www.drupal.org/project/oracle>) は追加モジュールが必要

PHP 言語 : PHP 5.5.9 以上

詳細は <https://www.drupal.org/docs/7/system-requirements/php>

詳細は以下のサイトで確認して下さい。 <https://drupal.org/requirements>

このマニュアルは、Debian GNU/Linux 6.0.7 での操作で、コマンド実行は、root 権限でのサンプルになります。他のユーザー権限などでは、sudo コマンドなどを使用します。

Drupal のクリーン URL 機能を使うには、Apache の mod_rewrite モジュールが必要です。

クリーン URL 機能とは、example.com/?q=user のような URL の代わりに example.com/user のような URL に変更する機能です。

2) ダウンロードとインストール手順

最新の Drupal 8 をダウンロードします。このマニュアル作成時、2016 年 9 月 9 日現在の最新版はです。ソースファイルは Linux などを使用する tar.gz 形式と Windows などの ZIP 形式の 2 種類あります。以下の URL にてダウンロード。

<https://www.drupal.org/project/drupal/releases/8.1.9>

drupal 8.1.9

[View](#) [View history](#)

Download tar.gz

12.06 MB

Download zip

19.71 MB

ダウンロード後、CMS を運用するディレクトリに移動して圧縮ファイルを解凍します。

Linux の場合は以下コマンドを使います。 例えば

```
/var/www/html 以下へコピーまたは移動させ
```

```
tar xzvf drupal-8.1.9.tar.gz
```

解凍後、drupal-8.1.9 というディレクトリにソースプログラムがありますので、わかりやすいように、そのディレクトリ名を drupal へ変更します。

一般的にこのディレクトリが Drupal ルートディレクトリという表現で説明されます。Linux の場合は以下のコマンドを使います。 例えば

```
mv drupal-8.1.9 drupal
```

このディレクトリ以下が Drupal のルートディレクトリとなります。

OS および Web サーバーのディレクトリやファイルのオーナーとユーザーのパーミッション設定にあわせてディレクトリを設定します。 例えば、Debian GNU/Linux の標準的な Apache2

インストール環境で、ディレクトリやファイルのオーナー権限は root、ユーザーが www-data の場合、/var/www/html/ 以下のディレクトリに drupal が存在するとき

```
chown -R root:www-data ./drupal
```

もしくは、別の方法で、オーナー権限とユーザーを共に www-data で設定します。

詳細は以下のサイトで確認して下さい。

<https://drupal.org/documentation/install/download>

データベースの作成 (インストール時に作成可能)

以下の手順は、Drupal 8の標準インストール画面でも作成可能です。データベースの設定をカスタマイズする場合は、

MySQLの場合で説明します。データベースやユーザー作成および権限などの設定はさまざま運用環境がありますので、運用する環境や目的に合わせて調整して下さい。学習用サンプルとして以下の手順で説明します。

運用サーバーのローカルホストに設置されたMySQLにroot権限でログインし、データベースの作成、データベースユーザーの作成、新しいデータベースに対してユーザーの権限を設定します。以下の赤字箇所を英数字で設定します。

1) MySQLにログインして、新しいデータベースの作成

```
CREATE DATABASE 新しいデータベース名 DEFAULT CHARACTER SET utf8 COLLATE  
utf8_general_ci;
```

2) データベースユーザーの新規作成

```
create user 'ユーザー名'@'localhost' IDENTIFIED BY 'パスワード';
```

3) 作成したデータベースユーザーに権限を設定

```
GRANT USAGE ON *.* TO 'ユーザー名'@'localhost' IDENTIFIED BY 'パスワード'
```

```
with max_queries_per_hour 0 max_connections_per_hour 0
```

```
max_updates_per_hour 0 max_user_connections 0;
```

権限を実行できるように

```
flush privileges;
```

4) 新しいデータベースに対してユーザーの権限を設定

```
GRANT SELECT,INSERT,UPDATE,DELETE,CREATE,ALTER,INDEX,DROP,CREATE
```

```
TEMPORARY TABLES,LOCK TABLES ON データベース名.* TO
```

```
'ユーザー名'@localhost IDENTIFIED BY 'パスワード';
```

権限を実行できるように

```
flush privileges;
```

5) データベースの確認

```
show databases;
```

詳細は以下のサイトで確認して下さい。

<http://drupal.org/documentation/install/create-database>

以上の設定で、ブラウザで、指定した Drupal 8 の root ディレクトリを実行させることで Drupal 7 のインストールが始まります。もし、Apache の Document Root が、/var/www の場合、ブラウザの URL には `http://ホスト名/html/drupal/` と指定すると Drupal 7 のインストールが実行されます。

インストール後の設定

インストールが完了したら、セキュリティ上、安全のために、必ず以下の settings.php ファイルのパーミッションを変更します。

設定ファイル (Drupal ルートディレクトリ sites/default/settings.php) の編集

Drupal をインストールしたディレクトリ(Drupal ルートディレクトリ)の下にある sites/default に移動します。settings.php ファイルのオーナー・ユーザーの権限を確認し、ファイルの権限をオーナーのみ読み込みできる設定にします。たとえば、Linux コマンドでは、以下のように設定します。

```
chmod -400 settings.php
```

ユーザーが取り扱う files ディレクトリの作成

sites/default ディレクトリに files というディレクトリを作成し、権限を設定します。

```
mkdir -p files
```

```
chown -R www-data:www-data files
```

```
chmod -R 775 files   もしくは   chmod o+w files
```

以上で Drupal 8 を使う事ができます。

クレジット、謝辞、ライセンス

クレジット

このマニュアルの著者は、Gennai3 株式会社の 程田和義です。

お問合せ hodota@gennai3.co.jp TEL:044-220-1588 FAX:044-272-9523

〒210-0844 神奈川県川崎市川崎区渡田新町 1-4-9-201 Gennai3 株式会社

謝辞

下記メンバーおよび Drupal コミュニティの人へ、心より感謝いたします。

Drupal.org および User Group のメンバーのみなさん

ライセンス

Drupal は Dries Buytaert による登録商標です。その他本マニュアルで使われている製品および名称については、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

英語での表記 [Drupal is a registered trademark of Dries Buytaert.](#)